

空知 シーニック バイウェイ 体感未来道

ルート運営活動計画

空知
シーニック
バイウェイ
ルート運営代表者会議

まっすぐ続く道

冬のイルミネーションがきれい♪

自然がいっぱい

空も飛べる

おいしい

寄り道が楽しい！

令和6年9月

未来の空知を想う。

空知地域は、エネルギー産業の合理化に伴い、急速な人口減少や少子高齢化の問題、教育や子どもの育成環境の地域格差など、日本が抱える様々な問題が散在しています。人口問題に関して言えば、空知管内の人口は1960年のピークから現在までで50万人以上も減少しており、現在もその減少は加速しています。日本にある792市の人口順位では、空知管内の自治体がワースト4（歌志内市、夕張市、三笠市、赤平市）を占めている状況です。また、空知地域の24の市町では学校の統廃合や地域イベントの縮小や中止、市民活用施設の廃止など、私たちが幼少期に経験できたことを今の子供たちには提供できない状況となりつつあります。良くも悪くも、経済政策による地方の急速な成長と退行に悩み、人口減少と急速な過疎化に伴う様々な地域課題のフロントランナーであると言えるでしょう。

しかし、フロントランナーであることには価値があります。

どのような時代でも同じようなことが言えるかもしれませんが、このような時代の正しい生き方や、俗にいわれる成功事例などは存在しません。日本が抱える問題ですら、都会と田舎でそもそもの考え方や危機感も様々で、格差が生じています。そのような中で、何もしないことによる結果だけは誰が考えても一つです。問題を解決するための行動に正解がないからこそ、取るべき行動や活動、求める答えも様々であり、失敗もなければ正解もないと言えるのです。

通信インフラ・イノベーションにより携帯電話やSNSなどの普及で多くの情報に溢れ、コロナ禍を経て人との繋がり方も大きく変化しました。歴史や文化、人々が捉える価値も急速に多様化が進む中で、本当に私たちが追い求めるリアルは「わたしの幸せの見つけ方」なのかもしれません。

「人口が少なくなるから不幸になるわけではない」

「都会ではなく田舎に生まれたから不幸なわけではない」

「時代や必要とされる価値が変わることで、幸せが変化するわけではない」

だからこそ、空知シーニックバイウェイは活動を通じて人との「繋がり」や「関わり」を生み出し、「空知の幸せに気付いてもらえる」行動をしていきたいと考えています。空知の人を知り、空知の歴史や文化を知り、空知の美しい景色を知る。そのように空知の幸せを知っている方が、空知の幸せに気付くきっかけを伝える行動をする。そして、それらの行動理念を理解する仲間たちと共に、競争力のある新たな空知の価値（リアル）を生み出していくことこそが、私たちが行っていくべき活動であると考えています。

目次

1. ルートのエリア及び概要	1
1.1. ルート概要	1
1.2. ルートの地理的範囲と自治体別の主な通過国道（10市14町）	1
1.3. メインルートの特徴	2
1.4. サブルートの特徴	2
1.5. メインルート①の概要	4
1.6. メインルート②の概要	5
1.7. メインリバーの概要	5
2. ルートの愛称とテーマ	6
2.1. ルートの名称	6
2.2. ルートテーマ	7
2.3. 活動キャッチフレーズ	7
3. ルートの資源と課題	8
3.1. ルートの特性	8
3.2. ルートの課題	14
4. ルートの基本方針	15
4.1 活動目標	15
4.2 基本方針	15
4.3 基本方針と活動内容	16
5. 今後の活動スケジュール	28
6. ルートの運営方針	29
6.1 ルートの運営体制	29
6.2. ルートの活動団体	30
7. ルートの活動実績	42
7.1 空知シーニックバイウェイの活動経過	42
7.2 ルートの活動実績	45

1.ルートのエリア及び概要

1.1.ルート概要

空知地域は、北海道第一、第二の都市である札幌・旭川を結び、日本一長い直線道路である国道12号が南北を貫いています。また、日本でも有数の流域面積・長さを誇り、北海道遺産にも指定されている石狩川を有する地域です。明治初期から国のエネルギー産業を支える石炭を産出し、重要な役割を担ってきた「旧産炭地」として知られています。エネルギー政策の転換により、炭鉱は閉山を余儀なくされましたが、立坑などの産業遺産を「価値ある歴史」と捉えた活動が現在も行われています。

開拓以来、石狩川と共に整備されてきたこの地域は、全道の約10%を占める耕地面積、道内一の水田面積を有し、農業生産基地としての役割が期待されています。近年ではワインや農産加工品の生産地域としても認知され、多面的な食農産業が広がっています。また、開拓や炭鉱の歴史に根差した草や木などのモノづくりを主体とした企業も多く存在する他、サイクルツーリズム、かわたび、空を旅するグライダー、歴史を学ぶガイドツアー、農家レストランやカフェ、アートなど、五感を刺激する魅力的な体験が楽しめます。

1.2.ルートの地理的範囲と自治体別の主な通過国道（10市14町）

当ルートは、以下の10市14町で構成します。

 夕張市 Yubari City	夕張市 7,334 人 国道:R274/R452	 岩見沢市 Iwamizawa City	岩見沢市 79,036 人 国道:R12/R234	 美瑛市 Bibai City	美瑛市 20,413 人 国道:R12
 芦別市 Ashibetsu City	芦別市 12,555 人 国道:R38/R452	 赤平市 Akabira City	赤平市 9,698 人 国道:R38	 三笠市 Mikasa City	三笠市 8,040 人 国道:R12/R452
 滝川市 Takikawa City	滝川市 39,490 人 国道:R12/R38/R451	 砂川市 Sunagawa City	砂川市 16,486 人 国道:R12	 歌志内市 Utashima City	歌志内市 2,989 人 道道 114/115
 深川市 Fukagawa City	深川市 20,039 人 国道:R12/R233/R275	 南幌町 Nanporo Town	南幌町 7,319 人 国道:R337	 奈井江町 Naien Town	奈井江町 5,120 人 国道:R12
 上砂川町 Kamisuagawa Town	上砂川町 2,841 人 道道 114・115	 由仁町 Yuri Town	由仁町 4,822 人 国道:R234/R274	 長沼町 Naganuma Town	長沼町 10,289 人 国道:R274/R337
 栗山町 Kuriyama Town	栗山町 11,272 人 国道:R234/R274	 月形町 Tsukigata Town	月形町 3,691 人 国道:R275	 浦臼町 Utsunui Town	浦臼町 1,732 人 国道:R275

	新十津川町 6,484 人 国道:R275/R451		妹背牛町 2,693 人 道道:47/94		秩父別町 2,329 人 国道:R233
	雨竜町 2,389 人 国道:R275		北竜町 1,724 人 国道:R233/R275		沼田町 2,909 人 国道:R275

※人口は 2020 年（令和 2 年）国勢調査より

1.3.メインルートの特徴

空知シーニックバイウェイのメインルートは、管内を通過する 9 つの国道（国道 12 号・38 号・233 号・234 号・274 号・275 号・337 号・451 号・452 号）と南北を縦断する道央自動車道、道東へ続く道東自動車道、道北へ続く深川留萌自動車道の 3 つの高速道路とするとともに、石狩川とその支川である、空知川、雨竜川、幾春別川、夕張川の 4 つの河川をメインリバーとして位置づけ、それぞれ大切な資源として活動を展開します。



日本一の直線道路 国道 12 号



石狩川

1.4.サブルートの特徴

空知管内には、空知の開拓と歴史を象徴する樺戸道路のほか、全道第 1 位農業算出額を誇る米や全道第 2 位の果実など、空知の基幹産業（農業）を支える広域農道（及び市町村道）など、様々な魅力を持つ道路が存在します。空知シーニックバイウェイでは、メインルート周辺のこれらの道道と市町村道をサブルートに位置づけ、サイクルイベントや田園風景を活かしたドライブルートの設定など、空知の歴史や文化、景観資源の魅力を深く広く理解していただけるよう活動を展開します。



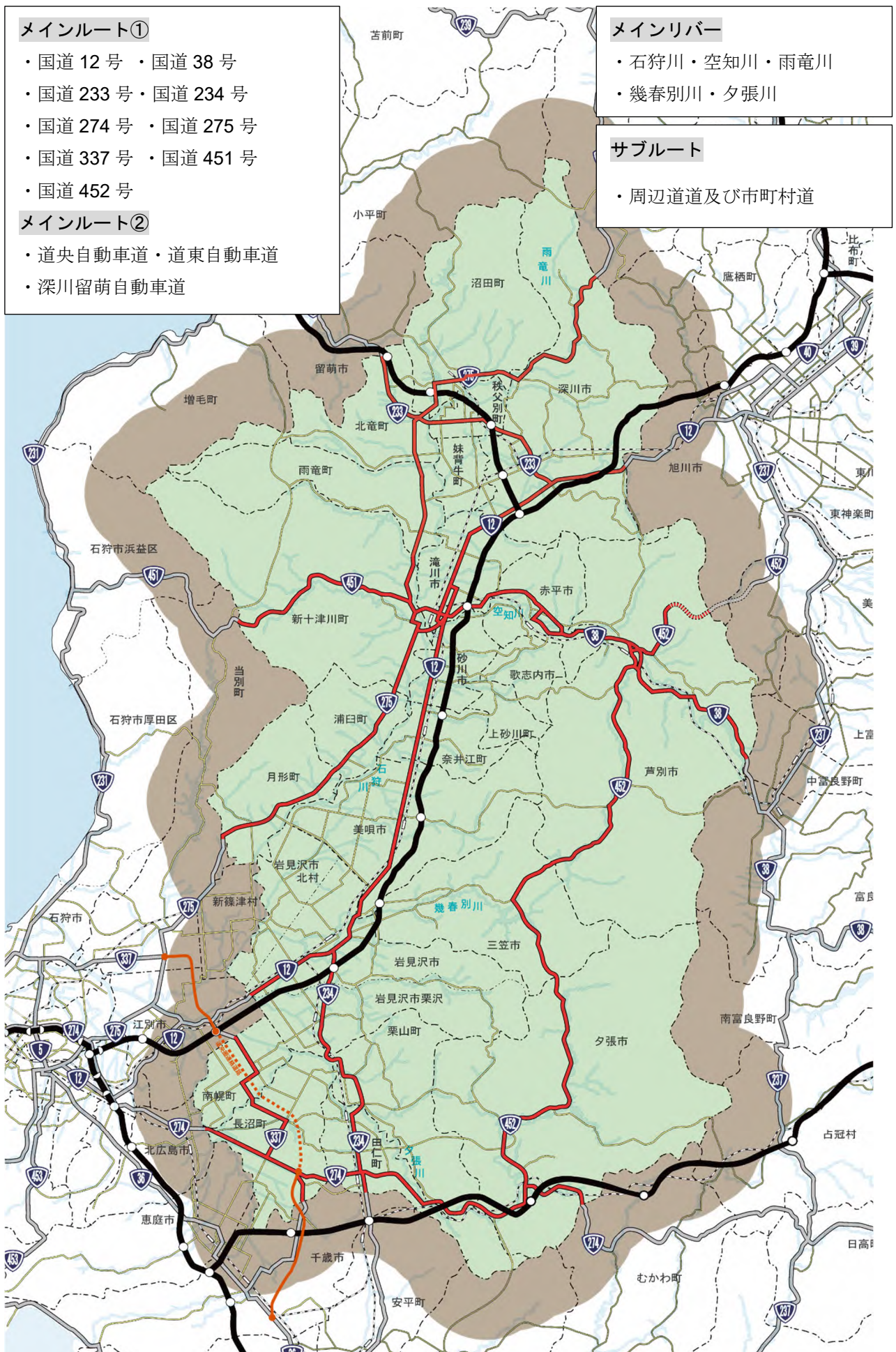
樺戸道路サイクリング

- ・国道 12 号 ・国道 38 号
- ・国道 233 号 ・国道 234 号
- ・国道 274 号 ・国道 275 号
- ・国道 337 号 ・国道 451 号
- ・国道 452 号

- ・道央自動車道・道東自動車道
- ・深川留萌自動車道

- ・石狩川・空知川・雨竜川
- ・幾春別川・夕張川

・周辺道道及び市町村道



1.5.メインルート①の概要

国道 12 号	特 徴	空知を代表する中央国道（直線道路日本一 29.2km）		
	起 終 点	札幌市～旭川市	現道延長	145.2km
	通過市町	岩見沢市、三笠市、美唄市、奈井江市、砂川市、滝川市、深川市		
	道 の 駅	三笠、ハウスヤルビ奈井江、たきかわ、ライスランドふかがわ		
国道 38 号	特 徴	炭鉱文化を感じる道		
	起 終 点	滝川市～釧路市	現道延長	297.1km
	通過市町	滝川市、赤平市、芦別市		
	道 の 駅	スタープラザ芦別		
国道 233 号	特 徴	日本海へ続く道（深川留萌自動車道が並行）		
	起 終 点	旭川市～留萌市	現道延長	55.3km
	通過市町	深川市、秩父別町、北竜町		
	道 の 駅	ライスランドふかがわ、鐘のなるまち・ちっぷべつ		
国道 234 号	特 徴	空知ウェルカムゲート/アクセスロード（道東自動車道との接続）		
	起 終 点	岩見沢市～苫小牧市	現道延長	69.5km
	通過市町	岩見沢市、栗山町、由仁町、（勇払郡安平町、苫小牧市）		
	道 の 駅	－		
国道 274 号	特 徴	三川国道/石狩平野から夕張山地へ向かう道（道東自動車道との接続）		
	起 終 点	札幌市～標茶町	現道延長	316.0km
	通過市町	長沼町、由仁町、栗山町、夕張市		
	道 の 駅	マオイの丘公園、夕張メロード		
国道 275 号	特 徴	田園風景と樺戸連山、阿蘇岩山と夕日のコントラストが綺麗な道		
	起 終 点	札幌市～浜頓別町	現道延長	281.0km
	通過市町	月形町、浦臼町、新十津川町、雨竜町、北竜町、沼田町、深川市		
	道 の 駅	つるぬま、田園の里うりゅう、サンフラワー北竜、275 つきがた		
国道 337 号	特 徴	物流の道/石狩湾、新千歳空港、苫小牧港を結ぶ道央国道/道央圏連絡道路		
	起 終 点	千歳市～小樽市（国道 274 号と一部重複）	現道延長	84.1km
	通過市町	長沼町、南幌町		
	道 の 駅	マオイの丘公園（国道 274 号と重複）		
国道 451 号	特 徴	暑寒国道		
	起 終 点	留萌市～滝川市（国道 275 号と一部重複）		
	通過市町	新十津川町、滝川市	現道延長	54.9km
	道 の 駅	－		
国道 452 号	特 徴	夕張国道/山道/夜空の美しい道		
	起 終 点	夕張市～旭川市（一部未開通）	現道延長	110.1km
	通過市町	夕張市、三笠市、芦別市		
	道 の 駅	－		

1.6.メインルート②の概要

道央自動車道	特 徴	石狩平野を見渡すことが可能/ブドウ畑/深川留萌自動車道へのアクセス		
	起 終 点	大沼公園 IC～国道 12 号と並行～士別剣淵 IC	総延長	697.0km
	サービスエリア	岩見沢 SA、茶志内 PA、砂川 SA（スマート IC）、音江 PA		
	通過 IC	岩見沢 IC、三笠 IC、美唄 IC、奈井江砂川 IC、砂川 SA、滝川 IC、深川 IC		
道東自動車道	特 徴	北海道東西軸物流の要/日本海から太平洋		
	起 終 点	千歳恵庭 JCT～足寄 IC	総延長	258.0km
	サービスエリア	由仁 PA		
	通過 IC	夕張 IC		
深川留萌自動車道	特 徴	田園風景を見渡しながら雄大な景観を楽しむ道		
	起 終 点	深川 JCT～留萌 IC	総延長	49.0km
	サービスエリア	秩父別 PA		
	通過 IC	深川西 IC、秩父別 IC、沼田 IC、北竜ひまわり IC		

1.7.メインリバーの概要

() : 空知管外の市町村

石狩川	特 徴	大雪山系の石狩岳を水源として日本海に注ぐ北海道最大の一級河川		
	起 終 点	上川町～石狩市	流路延長	268.0km (全国 2 位)
	流域面積	14,330 km ² (全国 3 位)		
	流域市町	(上川町、愛別町、当麻町、比布町、旭川市、鷹栖町)、深川市、妹背牛町、滝川市、雨竜町、新十津川町、砂川市、奈井江町、浦臼町、月形町、美唄市、岩見沢市、(新篠津村、江別市、当別町、札幌市、石狩市)		
空知川	特 徴	石狩川で最大の 1 次支川		
	起 終 点	南富良野町～砂川市	流路延長	194.5km
	流域面積	2,618 km ²		
	流域市町	(南富良野町、富良野市、中富良野町)、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市		
雨竜川	特 徴	石狩川の支川で、流域では蕎麦の栽培が盛んな川		
	起 終 点	幌加内町～滝川市	流路延長	177.0km
	流域面積	1,722 km ²		
	流域市町	(幌加内町)、深川市、沼田町、秩父別町、北竜町、妹背牛町、雨竜町、滝川市、新十津川町		
幾春別川	特 徴	石狩川の支川で、上流域ではカヌーなどが盛ん。		
	起 終 点	三笠市～岩見沢市	流路延長	59.0km
	流域面積	343 km ²		
	流域市町	三笠市、岩見沢市		
夕張川	特 徴	かつては千歳川の支流であったが、治水事業で現在の流れに。		
	起 終 点	夕張市～江別市	流路延長	136.0km
	流域面積	1,417 km ²		
	流域市町	夕張市、栗山町、由仁町、長沼町、岩見沢市、南幌町、(江別市)		

2.ルートの愛称とテーマ

2.1.ルートの名称

空知シーニックバイウェイ- 体感未来道 -

[英語名：Sorachi Scenic Byway - Experience Future Road]

空知地域を表す「空知（Sorachi）」と「シーニックバイウェイ【景観の良い（Scenic）脇道・寄り道（Byway）】」を合わせた「空知シーニックバイウェイ（Sorachi Scenic Byway）」をルート名称とします。体感未来道は、活動する上で大切にしている空知での「体感」と、活動が「未来に繋がる道」となるよう想いをこめ、ルート名称を補足する言葉として表現しています。

正式名称は「空知シーニックバイウェイ-体感未来道-（英語名：Sorachi Scenic Byway - Experience Future Road）」としますが、普段は、親しみやすい呼称として「空知シーニックバイウェイ（Sorachi Scenic Byway）」と呼んでください。

Key Words

Key Word 1

歴史や成り立ち（ルーツ）、
現地に来て見て感じる

Key Word 2

子どもの未来を繋げよう

Key Word 3

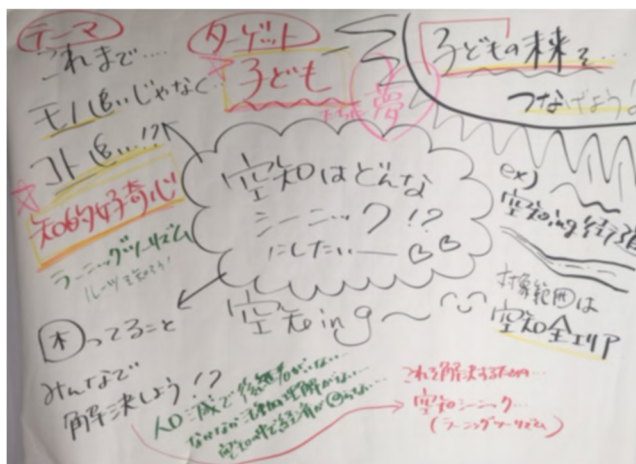
知的好奇心

Key Word 4

生活観光

Key Word 5

空



私たちが理想とするシーニックバイウェイは、活動を通じて子供から大人まで多くの方々と触れ合い、空知の魅力や価値を再認識してもらうこと。そして、北海道を訪れる多くの方々に空知の魅力を感じてもらい“空知の歴史や成り立ち”を“現地に来て見て感じていただく”この活動そのものが“子どもたちの未来に繋がる”と信じています。

空知は、歴史と生活が密接に交わる地域です。空知に広がる田園風景やエネルギー産業を物語る施設やズリ山など、私たちの生活の成り立ちそのものが観光に値する“生活観光”が魅力です。私たちは、空知シーニックバイウェイの活動を通じて、知れば知るほど空知への興味が沸く“知的好奇心”に繋がる価値を提供していきたいと思います。

2.2.ルートテーマ

五感で「空ヲ知ル」

誰しもが“忘れられない風景”を持っています。空知には、歴史や文化を学び見る空、田園風景やブドウ畑から見る空、道路や川と見る空などと五感で感じる特別な空があります。美しい大地から心に響く空を知る。そんな空知を、地域の人々、子どもたち、空知を訪れる人々に五感を通じて知ってもらう心づくりをベースとしたルート活動を行うことを目指します。

五感のイメージ

- 「 見 」 風景・景観、歴史的遺産、芸術
- 「 香 」 花、ワイン、田んぼ・畑の臭い
- 「 聞 」 自然の音（鳥の声、風）、地域住民の話し声
- 「 食 」 ワイン、肉、スイーツなど
- 「 摂 」 体感（歴史、自転車、スカイスports、農業体験）

2.3.活動キャッチフレーズ

Let's 空知 ing !!

[レッツ・ソラッチング = 仲良くなれる魔法の言葉]

空知 ing とは…

空知を知り、体験し、感じ、空知の未来と繋がること

- 空 : 空知の空、空気、雰囲気、歴史
- 知 : 知る、体験する、感じる、知り合う、繋がる
- ing : 動く「こと」、行動する、続ける、進行形

空知には、美しい自然や豊かな歴史、そして温かい人々がたくさんいます。このような魅力をもっと多くの人に知ってもらいたいと考えています。空知シーニックバイウェイでは「いつも、現在進行形で」空知の歴史や文化、地域を知って繋がり続けることをモットーとして「Let's 空知 ing」を合言葉に活動を続けていきます。



池の前水上公園（滝川市）



北海盆踊り（三笠市）



遊水公園うらら（妹背牛町）

3. ルートの資源と課題

3.1. ルートの特性

空知管内 10 市 14 町で構成する当該ルートは、石狩川沿いに肥沃な平坦地が続く米作を中心とした農業地帯です。また、札幌と旭川の間に位置し、日帰りも容易なことから、通過型の観光が主体の地域でもあります。資源としては、炭鉱遺産や廃線跡などの産業遺産、菜の花、ひまわり、バラといった花、アート、スカイスポーツ、サイクルスポーツ、食の地域特産品など、多種多様な魅力があるとともに、これらに関わる人々が空知の最大の資源であるといえます。下記に該当ルートの資源（特性）と課題を整理します。

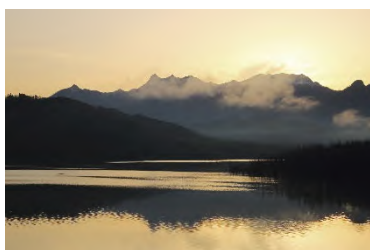
(1) 自然資源

空知管内には「暑寒別天売焼尻国定公園」と「富良野芦別道立自然公園」の二箇所が自然公園に指定されています。「暑寒別天売焼尻国定公園」には、我が国でも有数の山岳性高層湿原として知られる「雨竜沼湿原」（雨竜町）があり、ラムサール条約の重要湿地の登録や、道の天然記念物にも指定されています。高山植物や湿原植物の花の季節を中心に、多くの登山客でにぎわいを見せています。「富良野芦別道立自然公園」の夕張岳（夕張市）や峠山（芦別市）は特異な地質から、ユウバリソウやキリギシソウに代表される固有種や希少な植物が多く生育しています。特に暑寒別岳は「日本二百名山」や「北海道百名山」、夕張岳は「花の百名山」や「北海道百名山」にも選定されていることから、登山客に人気があるほか、桂沢湖（三笠市）や滝里湖（芦別市）は、ワカサギ釣りの人達でにぎわいを見せています。

また、河跡湖沼が多く残されている石狩低地帯は、シベリア等の繁殖地と日本国内の越冬地を往復するガンカモ類、ハクチョウ類の中継地として国際的にも重要であり、特に我が国で越冬するマガンの多くが中継地として利用している宮島沼（美唄市）は、ラムサール条約の重要湿地に登録されており、マガンの渡りの時期には、地元だけでなく道内外からも観光客が観察に訪れます。このほかにも、管内には自然豊かな森林、湖沼が広がっており、自然とふれあいながら環境への理解を深めることができるよう、遊歩道やキャンプ場等が整備されている場所もあります。



雨竜沼湿原（雨竜町）



夕張岳（夕張市）



宮島沼（美唄市）

(2) 河川・ダム

空知は、アイヌ語の「ソーラップチ（滝下る所）」を語源とする説があることから分かります。石狩川・空知川を中心に地形的にも歴史的に河川が重要な役割をはたしている地域です。

特に空知管内の10市14町が流域として位置する石狩川は、流域面積が14,330㎢で利根川に次いで全国2位、長さ268kmは信濃川、利根川に次いで3位であり、北海道遺産に選定されるなど、北海道開拓の歴史の中で、度重なる洪水と闘いながらも、交通物資輸送の道として大きな役割を担ってきました。現在は「川下り」や「河川清掃」また、子供が川で安全に遊べることを目的とした「子供川塾」等のイベントが実施されています。また、総貯水容量全国4位（427,000千㎥）の夕張シューパロダム（夕張市）をはじめ、空知管内には45のダムがあります。主にかんがい用水を目的としたダムが多数点していますが、近年はインフラツーリズムとして、観光資源としても注目されています。



新桂沢ダム（三笠市）



雨竜川と吊り橋（秩父別町）



夕張川清幌床止（南幌町）

(3) 歴史資源（炭鉱歴史）

北海道内陸部における開発の先兵として期待されたのが、豊富に埋蔵する石炭でした。空知管内の炭鉱の歴史は、明治12年に幌内炭鉱（三笠市）が開鉱したことに始まります。明治15年にはその石炭を運ぶための小樽～幌内間（約90km、当時の日本最長）の鉄道が、わずか3年で完成し、同時に労働力確保のため2つの集治監（監獄）が開かれ、まさに一大国家プロジェクトとして、北海道開拓や産業近代化を急速に推し進める原動力となりました。その後、最盛期には100を超える炭鉱が稼働し、石炭搬出の結節点となった岩見沢市、滝川市、深川市の各都市が発達し、このエリアは国内最大の産炭地として日本を支えてきました。しかし昭和30年以降、国のエネルギー政策の転換により閉山を余儀なくされ、平成7年3月の空知炭鉱（歌志内市）の閉山により坑内掘りは無くなったが、現在も6市町で露天掘りによる石炭産出が続いています。

また、産炭地域では、「日本遺産・炭鉄港」、「北海道遺産」、「近代化産業遺産」に認定された炭鉱関連施設や文化等を活用した地域づくりが行われており、民主導による産炭地域の活性化策の検討や、地域資源の魅力をPRする事業が実施されているほか、「ジオパーク」の取組では[地域ならではの]に注目したツーリズム活動や各種教育プログラム等の活動が活発化しています。

このほか、鉄道資源としては木材を搬出した森林鉄道もありましたが、現在は殆どが廃線となっています。線路跡・駅舎跡は、地域の歴史を語る資源として、サイクリングロード等の活用や、教育観光の場所としても一部活用されています。



旧住友赤平炭鉱立坑（赤平市）



旧三井砂川炭鉱中央立坑
（上砂川町）



ジオサイクリングツアー（三笠市）

（4）農業

全道一（全道比約45%）の作付けを誇る稲作を主体に、畑作物は水田の転作としての小麦や大豆などの生産が多く、特に大豆は全道一の作付けを誇り、小麦・そばについても道内有数の産地となっています。また野菜や花きは、水田農業における所得確保の手段として作付けされ、このうちトマト、はくさい、メロン、なす、ねぎ、きゅうり、かぶ、たまねぎ等が道内有数の産地となっています。また、近年は、ワイン醸造用のブドウ栽培も盛んで、空知地域は北海道のワイン産地として注目されています。

赤平市から南幌町（7市町）までの延長約80kmにおよぶ、農業専用では日本でもっとも長い「北海幹線用水路」は、空知平野へ農業用水を供給するために造られ、北海道の穀倉を支える役割を果たしており、北海道遺産にも認定されています。広大な平野に広がる水田、丘陵に広がる様々な畑、丘陵を貫く一直線の農道等は、「北海道らしい」景観として観光客にも親しまれており、後述するグリーンツーリズムや食育等にも繋がっています。



春の田園風景（雨竜町）



雨竜川竜水橋から見渡す畑
（沼田町・深川市）



伏見台公園からの眺望
（由仁町）

■グリーンツーリズム等の推進と農村活性化

南空知では札幌圏に近い優位性を活かして、また北空知では高速道路等アクセスの優位性を活かして、農業体験や直売所、ファームレストラン、観光農園など様々な取り組みが行われています。修学旅行生の受入れ、ファームインといった滞在型の施設は合わせて481と全道一。道内施設数の約2割を占めています。※グリーン・ツーリズム関連施設調査(2023)北海道より



田植え体験（雨竜町）



アンテナショップ PiPa
（美瑛市）

(5) 観光（レクリエーション）

空知は、地元の農産物を活かしたファームレストラン、グリーンツーリズム、ワインツーリズムなど、道内有数の農業地帯として、農業との連携を活かした観光が進められています。

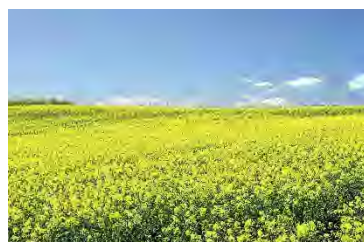
国内有数の醸造用ブドウ畑を抱え、ワイン産地として知名度が上がっている北海道において、空知は現在9つのワイナリーと7つのヴィンヤードを擁し、更に今後も増えつつある注目のエリアです。またワイン以外にも、歴史ある酒蔵、長沼町の「どぶろく特区」など、多様な酒類を生産する地域でもあり、それに関連した飲食サービス、観光商品も開発されつつあります。

かつて日本の近代化を支えた炭鉱関連施設、広大な菜の花畑やひまわり畑、ローズガーデンなどの美しい景観、数多くの温泉施設、こだわりのご当地グルメや、グライダー、乗馬、ラフティング、カート、サイクリング、さらにはSLの運転体験など様々なコンテンツがあり、広域的・複合的に連携することにより、観光客へより魅力的な地域としてPRできる可能性があります。

空知は新千歳空港に降り立った観光客が道北、道東へアクセスする上での通過点という位置にあり、空知の観光開発ならびに空知と周辺エリアとの連携が、全道的な視点においても期待されています。



戸外炉峠を駆けるサイクリスト
(深川市)



江部乙の菜の花畑
(滝川市)



滝川スカイパーク
(滝川市)



岩見沢公園バラ園（岩見沢市）



砂川遊水地（砂川市）



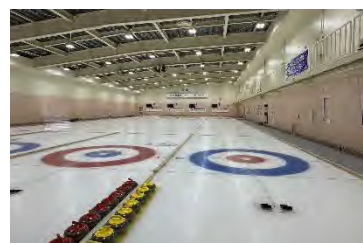
ひまわりの里（北竜町）



夜明けの雲海（歌志内市）



屋内遊技場ちっくる
(秩父別町)



カーリングホール（妹背牛町）

(6) 文化資源（文化・芸術）

空知では、安田侃氏が今なお創り続ける、野外彫刻美術館アルテピアッツァ美唄（美唄市）や、日本を代表する彫刻家流政之氏の作品が設置されている赤平市エルム高原。彫刻家・デザイナーの五十嵐威暢氏のアトリエ・ギャラリー「かぜのび」（新十津川町）など芸術作品に触れることができます。また、他にも、ベネチア・ビエンナーレやドクメンタなど世界を舞台に活躍する現代美術家の川俣正が故郷三笠市で進めるアートプロジェクト「北海道インプログレス・三笠プロジェクト」、若手アーティストをはじめ道内作家を招き炭鉱遺産とアートを融合させた「赤平アートプロジェクト」、そして空知の自然や文化をテーマにした地域アートプロジェクトで地元の魅力を再発見する活動を行っている「みる・とーぶプロジェクト」（岩見沢市）など、空知の風景や地域に根ざした芸術体験ができます。



アルテピアッツァ美唄（美唄市）



アトリエ・ギャラリー「かぜのび」
（新十津川町）



みる・とーぶプロジェクト
（岩見沢市）

(7) 食

全国ブランドとして有名な「夕張メロン」をはじめ、三笠市、奈井江町、栗山町、月形町、浦臼町、雨竜町、北竜町などでメロン栽培が盛んです。また、近年、由仁町や栗山町で栽培されるさつまいも「由栗いも」が地域特産品として注目されています。由栗いもは、独特な甘みとしっとりとした食感が特徴で、お菓子やソフトクリームは観光客にも人気です。北海道遺産であるジンギスカンは、滝川市、長沼町、南幌町、新十津川町の特産品であり、味付けなど羊肉をおいしく食べる工夫が凝らされ、新しい料理として北海道で確立しています。また、花見などでも定番であるジンギスカンは、鍋を囲んで人と人をつなげる役割も果たしています。他に、美唄市の焼き鳥や赤平市のがんがん鍋、芦別市のガタタン、歌志内市のなんこ鍋など地域の特徴を生かした郷土料理が数多くあります。

ワインの産地としては、国内有数の醸造用ブドウ畑を保有する浦臼町をはじめ、岩見沢市、三笠市、歌志内市、長沼町でもワイナリー・ヴィンヤードが点在しています。新十津川町、栗山町では日本酒の酒造メーカーがあり、「どぶろく特区」に認定された長沼町では2軒の農家がどぶろくを製造しています。



松尾ジンギスカン（滝川市）



由栗いも（由仁町）



小林酒造（栗山町）

(8) ハイウェイ

空知地域には3つの高速自動車国道「道央自動車道」「道東自動車道」「深川留萌自動車道」が通過しています。

道央自動車道には、岩見沢から深川までインターチェンジ6箇所、サービスエリア2カ所があります。中でも日本国内最北のサービスエリアであり、全国で初めて高速道路上でのUターンが可能となった砂川サービスエリアには、北海道のお土産や空知の新鮮野菜や豊富な特産品などが買える「砂川ハイウェイオアシス」が併設されています。隣接する「北海道子どもの国」は、広大な敷地に約80科255種の樹木や野草や、エゾリス、ウサギ、タヌキ、キツネなどの野生小動物もいる自然豊かな道立都市公園で、高速道路から降りずに行くこともできます。

深川留萌自動車道は、インターチェンジ4箇所と、パーキングエリア1箇所があります。秩父別パーキングエリアには、バラの花を中心として緑や花などの自然を楽しめる野外レクリエーション施設「ローズガーデンちっぷべつ」や、「こども冒険の森公園」、秩父別町観光体験牧場「めえーめえーランド」が隣接しており、砂川ハイウェイオアシス同様、利用者はパーキングエリア内の駐車場に駐車して、そのまま徒歩で入園できます。

道東自動車道は、インターチェンジが1箇所あり、観光や物流の重要なルートとなっています。夕張ICからは、石炭の歴史村や夕張メロンなどの観光名所へのアクセスも良好です。

この通り、空知管内においては高速道路と密接に連携した施設が複数あるとともに、各インターチェンジと地域との接続についても整備が進んでいます。アクセス手段として、高速道路を有効に活用することで、観光客の増加や新たな観光商品開発が考えられます。



東日本高速道路(株)北海道支社
北海道スマホスタンプラリー
シーニックバイウェイ北海道と連携



北海道ハイウェイ ShowArea@2022
in 砂川SA
(NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団)

3.2.ルートの課題

空知地域は、かつて石炭産業とともに地域が栄えていた昭和 35 年には 82 万人を超えていましたが、エネルギー施策の転換により炭鉱が閉鎖され、労働人口の減少、若者の都市部への流出、商店街や産業が衰退していくなど、国策に翻弄されてきた地域です。

令和 2 年の国勢調査によると、全人口は 28 万 2 千人でピーク時から 6 割減少し、高齢化についても 43.2%と全道振興局管内で上から 2 番目となっており、夕張市の 52.2%を筆頭に、特に旧産炭地において高齢化率の高い市町が空知管内に点在しています。

一方、観光面では、令和元年度の観光入込客数は札幌管内から近いいためか道内で 5 番目（約 12,322,300 人）の入込客数ですが、そのほとんど約 96%が日帰り観光客であり、宿泊者数では各振興局順位で最下位の結果であることから、通過型観光であることが示唆されています。

空知シーニックバイウェイの目的は宿泊客の増加を図ることが最終目的ではありませんが、シーニックバイウェイの活動を行う上で、その地域の特色を理解し活動することが重要であると考えています。

4. ルートの基本方針

空知シーニックバイウェイでは、以下の基本方針のもと活動を進めます。

4.1 活動目標

景 観	地域の歴史・営みを感じる空知 ing な景観づくり
地 域	ルーツを大切に、未来に繋ぐ空知 ing な地域づくり
観 光	暮らしに触れる、風土を学ぶ、空知 ing な観光空間づくり

4.2 基本方針

活動目標	基本方針・活動内容
〔景 観〕 地域の歴史・営みを感じる空知 ing な景観づくり	景観資源の発掘・磨き上げ〔地域の成り立ちを大切に景観資源を発掘〕 ①ルート景観診断 ・暮らしの景観調査 ・シーニックデッキ（視点場）の発掘・登録 ②地域の歴史・営みを感じる景観ポイントの発信 ③景観美化活動（道路・河川等の清掃・除草・植栽、除雪）
〔地 域〕 ルーツを大切に 未来に繋ぐ 空知 ing な 地域づくり	空知ノ物語の収集・発信 〔ルーツを知り、物語を紡ぐ〕 ①広報ツールの検討・情報発信（情報拠点・SNS 等） ②ロード・地域 PR マップの作成 ・地域の歴史や文化、食や花、芸術、イベントに関する情報整理 ③シーニックフォーラムの開催（地域創生フォーラム） ④道の駅と連携した地域づくり ⑤文化や歴史（炭鉱遺産等）・芸術・食と連携した地域づくり ⑥森林・農業資源を活用した教育プログラム
〔観 光〕 暮らしに触れる 風土を学ぶ 空知 ing な 観光空間づくり	空知ラーニングツーリズムの展開 〔暮らしと学びのツーリズム〕 ①ルートの寄り道・周遊促進 ・道の駅と連携したスタンプラリーの実施 ・シーニックカフェの発掘・登録（景色が良い・地域が味わる） ②サイクルツーリズム ③ラーニングツーリズムの展開 ・空知ヒストリー観光の実施検討 ・ワイン街道観光の実施検討 ・食観光の実施検討 ④フラワーツーリズムの実施検討 ⑤各種イベントとの連携

4.3 基本方針と活動内容

空知シーニックバイウェイで取組む、景観づくり、地域づくり、観光空間づくりの各基本方針と活動内容を記載します。



地域の歴史・営みを感じる 空知 ing な景観づくり

地域を知ると見える景色が変わります。

歴史・成り立ちを大切に、景観資源を発掘し、伝えていきます。



ルーツを大切に、未来に繋ぐ 空知 ing な地域づくり

ひとつひとつの町に物語があります。

ルーツを知り、物語を紡ぐ 空知ノ物語の活動をはじめます。



暮らしに触れる、風土を学ぶ 空知 ing な観光空間づくり

地元の子ども、観光客も、空知を“学び”のフィールドに。

“暮らし”と“学び”のツーリズム。空知ラーニングツーリズムを展開します。

（１）景観づくりの方針と活動内容

● 景観：地域の歴史・営みを感じる空知ingな景観づくり

地域を知ると見える景色が変わります。

空知シーニックバイウェイでは、
地域の歴史・成り立ちを大切に、景観資源を発掘し磨いていきます。

空知地域は石狩川流域の肥沃な農業地帯であり、田畑農村景観が広がっています。歴史的には炭鉱産業で栄えたことから現在も炭鉱遺産や廃線跡が点在しており、生活と歴史が密接に交じり合う景観が特徴的です。景観づくりの活動方針は、景観資源の発掘と整理、シーニックデッキの設置検討、景観ポイントの発信、道路や河川の清掃活動、除草、植栽活動を行います。これにより、地域住民と観光客が楽しみ学べる空間を提供し、空知の魅力を高めることを目指しています。

【主な活動内容】

①ルートの景観診断

- ・暮らしの景観調査
- ・シーニックデッキ（視点場）の登録

②地域の歴史・営みを感じる景観ポイントの発信

③環境美化活動（清掃、除草、植栽活動）



暮らしの景観調査



シーニックデッキの登録



歴史を感じる景観ポイントの発信



清掃活動



除草活動



植栽活動

【具体的な活動実施例】

①ルートの景観診断

・暮らしの景観調査

シーニックキャラバン@北・中・南空知の実施

→景観・資源調査を踏まえた保全・改善・活用方法の検討・提案

ルートの景観・地域資源の調査として自治体と連携したシーニックキャラバン（フィールドワーク&意見交換）を実施します。

南・中・北空知の各エリアで年に1回程度、2～4自治体を対象に順次実施し、全24自治体の景観・資源調査を実施します。また、調査結果を踏まえ、景観の保全・改善・活用方法の検討・提案にも取り組んでいきます。

・2023年度実績：シーニックキャラバン@南空知（栗山町・由仁町・長沼町・南幌町）

シーニックキャラバン@冬の寄り道（滝川市他、国道12号）

シーニックキャラバン@北空知（秩父別町・妹背牛町）



シーニックキャラバン@南空知
夕張川清幌床止（南幌町）



シーニックキャラバン@冬の寄り道
たきかわ紙袋ランターン
フェスティバル（滝川市）



シーニックキャラバン@北空知
JR妹背牛駅名看板（妹背牛町）

・シーニックデッキ（視点場）の発掘・登録

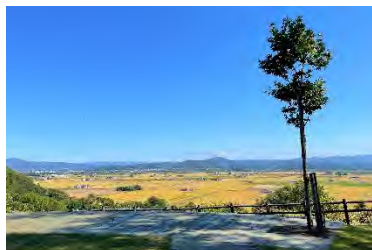
シーニックバイウェイ北海道で全道展開する“地域おすすめの景観が楽しめる”シーニックデッキ（視点場）について周知し、シーニックデッキの候補となるおススメの景観（視点場）を募集・発掘します。

応募（推薦）があったシーニックデッキ（候補）は、ルート運営代表者会議にて確認・登録し、空知管内で景観を楽しめる場所を増やしていきます。

・2024年9月現在：3箇所のシーニックデッキが登録されています。



シーニックデッキ
砂川遊水地管理棟（砂川市）



シーニックデッキ
当せん地展望台（新十津川町）



シーニックデッキ
奈井江大橋駐車帯（奈井江町）

②地域の歴史・営みを感じる景観ポイントの発信

- ・ 各種媒体を活用した景観ポイントの発信
- ・ 景観ポイントや活動情報を発信し魅力をPR

ルート内外の様々な媒体や機会を活用し、空知の景観ポイントを発信します。なお、発信の際には、地域の歴史や営み、活動など景観の背景にある地域の様子が伝わるよう心がけます。



シーニックドライブマップ 2019

芦別市街から南へ向かう国道 452 号。かつて炭鉱で沸いた時代に想いをはせ、深山に溶け込む、美しき炭鉱遺産を望む道。【国道 452 号（旧三井芦別鉄道炭山川橋梁）】



シーニックドライブマップ 2020

お米のまち深川を象徴する田園風景を季節毎に様々な魅力で見せてくれる絶景ビューポイントで、深川市街地も見渡せます。【道道 79 号線（深川市戸外炉峠駐車公園）】



かわたび Map



③環境美化活動（清掃、除草、植栽活動）

- ・ 各団体により道路や河川等の清掃・除草・植栽活動を行い、景観を磨き上げます。
- ・ 北竜町ひまわり観光協会（国道・道道・各公共施設の花壇、プランター設置等）
- ・ アイラブ・ロードあかびら推進協会（赤平バイパス：清掃・植花・花壇整備）
- ・ 赤平ラブリバー推進協会（空知川：河川敷の清掃・草刈、植花）
- ・ 石狩川下覧櫓（砂川遊水地周辺：ゴミ拾い）
- ・ 砂川レイクサイドの会（砂川オアシスパーク周辺：環境保全と美化活動）
- ・ NPO 法人日本一の直線道まちづくり研究会（国道 12 号：清掃・花植え、歩道の除雪）
- ・ 一般社団法人北海道三笠観光協会：国道 12 号（道の駅三笠周辺）
- ・ 国道みまもり隊（国道 234 号：草刈・清掃、岩見沢市内：花植）



砂川遊水地周辺のゴミ拾い
石狩川下覧櫓（砂川市）



国道 234 号街路樹の草刈
国道みまもり隊（岩見沢）



お花のプランター設置
北竜町ひまわり観光協会(北竜町)

（２）地域づくりの方針と活動内容

● 地域：ルーツを大切に未来に繋ぐ空知 ing な地域づくり

ひとつひとつの町に物語があります。

空知シーニックバイウェイでは、
ルーツを知り、物語を紡ぐ、空知ノ物語の取り組みを進めます。

空知シーニックバイウェイの地域づくりは、ひとつひとつの町が大切にしていることを未来の子どもに繋ぐことを目指しています。活動方針として、各市町でそれぞれ大切にしているモノ・コトを「空知ノ物語」として収集し、未来に伝える取り組みを行います。具体的には、地域の魅力を伝える広報ツールの作成や PR マップの作成、シーニックフォーラムの開催、道の駅との連携、森林・農業資源を活用した教育プログラムの展開を行います。また、地域イベントとの連携や炭鉱遺産を活用した地域づくりを推進します。地域の歴史や営みを尊重しつつ、空知の未来を見据えた活動を展開することで、地域の一体感と魅力を高めることを目指しています。

【主な活動内容】

- ①広報ツールの検討・情報発信（情報拠点・SNS 等）
- ②ロード・地域 PR マップの作成
 - ・地域の歴史や文化、食や花、芸術、イベントに関する情報整理
- ③シーニックフォーラムの開催
- ④道の駅と連携した地域づくり
- ⑤文化や歴史（炭鉱遺産等）・芸術・食と連携した地域づくり
- ⑥森林・農業資源を活用した教育プログラム



空知シーニックバイウェイ
公式 Facebook での情報発信



シーニックフォーラムの開催
（地域創生フォーラム）



道の駅と連携した地域づくり

【具体的な活動実施例】

①広報ツールの検討・情報発信（情報拠点・SNS等）

・空知を伝える広報ツールの検討

国内外で「空知（そらち）」が認知されるよう、「空知（そらち）」を伝える広報ツールを検討します。

・シーニックバイウェイ情報拠点での情報発信

ルート内の情報がチェックでき、地域のパンフレット等入手できる「シーニックバイウェイ情報拠点」にて、空知の情報を発信していくとともに、新たに情報発信にご協力いただける施設を発掘していきます。

・2024年9月現在：そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター（岩見沢市）と道の駅ハウスサルピ奈井江（奈井江町）の2箇所がシーニックバイウェイ情報拠点に登録されています。

・空知シーニックバイウェイ公式 Facebook 等での情報発信

空知シーニックバイウェイの公式 Facebook にて、活動情報を発信します。

空知全体の情報については、北海道空知地域創生協議会事務局が運営する“空知地域の知る人ぞ知る地域”の話題に、地元の人オススの食や観光スポット、イベント情報などを発信するサイト「そらち・デ・ビュー」<https://sorachi-de-view.com/>を紹介し、「空知（そらち）」の魅力を伝えていきます。



シーニックバイウェイ情報拠点
道の駅ハウスサルピ奈井江
（奈井江町）



シーニックバイウェイ情報拠点
そらち炭鉱の記憶マネジメントセ
ンター（岩見沢市）



空知シーニックバイウェイ
公式 Facebook での情報発信
（ルート）

②ロード・地域 PR マップの作成

・地域の歴史や文化、食や花、芸術、イベントに関する情報整理

空知地域の歴史や文化、食、花、芸術、イベント等に関する情報整理を行ったうえで、仕様を検討し、空知シーニックバイウェイのロード・地域 PR マップを作成します。

③シーニックフォーラムの開催

・地域創生フォーラムの企画・開催

空知地方の経済活性化を図るため、地域の元気を取り戻すイベントとして講演会やセミナーを開催します。

④道の駅と連携した地域づくり

空知管内には、2024年9月現在、13の道の駅があります。「そらち道の駅ネットワーク会議」に参加し意見交換を行うなど、道の駅と連携した地域づくりに取り組みます。

子ども向けのラジオ体操や習字教室、大人向けに町の想いで写真やエピソードを集める「空知ノ物語」、防災の取組みなど、道の駅を拠点とした地域づくりに取り組みます。



道の駅ハウスアルピ奈井江
夏休みラジオ体操



空知ノ物語@奈井江
思い出写真の収集



そらち道の駅ネットワーク会議
2023年：秩父別町

⑤文化や歴史（炭鉱遺産等）・芸術・食と連携した地域づくり

文化や歴史（炭鉱遺産等）・芸術・食・スポーツ等それぞれの専門分野を活かした地域づくりに取り組みます。

- 空知のワインを地域の力に「（仮称）そらちワイン協会」の組織化：2023年度に第1回空知ワイン会議、2024年度に第2回空知ワイン会議を開催。（山崎ワイナリー、宝水ワイナリー）
- 世界発信の文化活動「夕張国際ファンタスティック映画祭」の主催（NPO法人ゆうぱりファンタ）
- 炭鉱遺産×アートプロジェクト（NPO法人炭鉱の記憶推進協議会）
- スポーツによるまちづくり（一般社団法人SLDI・公益社団法人滝川スカイスports振興協会）

⑥森林・農業資源を活用した教育プログラム

- ・空知の森林・農業資源を活用した、教育プログラムを継続していきます。



（仮称）そらちワイン協会の組織化
に向けた空知ワイン会議



炭鉱遺産×アート



森林を活用した教育プログラム

（３）観光空間づくりの方針と活動内容

● 観光：暮らしに触れる、風土を学ぶ空知ingな観光空間づくり

地元の子ども、観光客も、空知を 学び のフィールドに。

空知シーニックバイウェイでは、

“暮らし”と“学び”のツーリズム 空知ラーニングツーリズムを展開します。

空知シーニックバイウェイの観光空間づくりは、地域の暮らしに触れ、風土を学ぶ観光体験を提供することを目指しています。活動方針としては、サイクルツーリズムやラーニングツーリズムを展開し、空知の歴史や文化を学ぶ観光プログラムを実施します。具体的には、空知ヒストリー観光、ワイン街道観光、食観光、フラワーツーリズムなどを検討し、各種イベントとの連携を図ります。また、地域の景観や自然を活かした体験型観光を推進し、観光客が地域の魅力を五感で楽しむことができるよう、情報発信と広報活動を強化します。これにより、地域住民と観光客が共に学び、楽しめる観光空間を創造し、空知の魅力を高めることを目指しています。

【主な活動内容】

①ルートの寄り道・周遊促進

- ・道の駅と連携したソラ★スタスタンプラリーの実施
- ・シーニックカフェの発掘・登録（景色が良い・地域が味わえる）

②サイクルツーリズムの推進

③ラーニングツーリズムの展開

- ・空知ヒストリー観光の実施検討・ワイン街道観光の実施検討・食観光の実施検討

④フラワーツーリズムの実施検討

⑤各種イベントとの連携



ルートの寄り道・周遊促進
ソラ★スタスタンプラリー2024
ほろしん温泉（沼田町）



サイクルツーリズムの推進
ゆにポタリング
由仁町観光協会（由仁町）



ラーニングツーリズムの展開
ジオツアー
（三笠市）

【具体的な活動実施例】

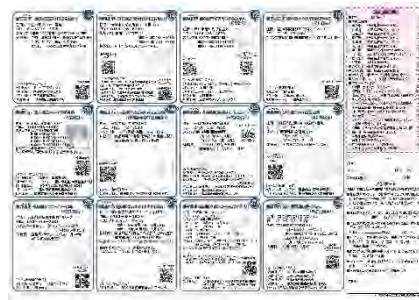
①ルートの寄り道・周遊促進

空知の寄り道・周遊を促進する取り組みを実施します。

・道の駅と連携したソラ★スタスタンプラリーの実施

そらち道の駅ネットワークと空知シーニックバイウェイが共催し、道の駅と空知シーニック関連施設を巡るソラ★スタンプラリーを実施します。

-2024 年度は、12 の道の駅+10 のシーニックバイウェイ関連施設：22 箇所で開催中



ソラ★スタ 2024 ラリー帳

・シーニックカフェ（景色が良い・地域が味わえる）の発掘・登録

シーニックバイウェイ北海道で全道展開する“景色が良い・地域が味わえる”シーニックカフェについて周知し、地域おススメのシーニックカフェを募集・発掘します。

応募（推薦）があったシーニックカフェ（候補）は、ルート運営代表者会議にて確認・登録します。景観が良い・地域が味わえるシーニックカフェを増やしていきます。

-2024 年 9 月現在：6 箇所のシーニックカフェが登録されています。



シーニックカフェ
たきかわスカイパーク カフェテ
リア リリエントール（滝川市）



シーニックカフェ
菅野牧園（栗山町）



シーニックカフェ
宝水ワイナリー・ソフトクリーム
- ヴィアグレスト-（岩見沢）



シーニックカフェ
Cafe KALAMA



シーニックカフェ
長沼の Café インカルシ



シーニックカフェ
いたがき Café(鮎いたがき赤平本店)

②サイクルツーリズムの推進

- ・サイクリングツアー&イベントの実施
- ・交流事業、受け入れ環境整備

各団体にて、空知の風景や資源を活かした特徴あるサイクリングツアーやイベントを実施するとともに、交流事業や受け入れ環境整備にも取り組んでいます。

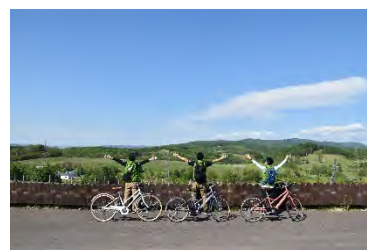
空知シーニックバイウェイでは、空知地域のサイクル観光およびサイクル観光者の受け入れ環境整備の一端として、石狩川本流のベースとした石狩川流域圏ルート(サイクルート北海道)のワーキンググループに参画、空知管内のサイクル事業の促進を図るため、9月～10月に行われる試走会にも率先して参加しています。



アーチヒーロー・そらちバイシクルプロジェクト（美唄市）



ゆにスノーライド
由仁町観光協会（由仁町）



ジオツアー
北海道三笠観光協会（三笠市）



シーニックカフェ
サイクルラックの設置



空知シーニックメンバーによる
モニタリングツアー



石狩川流域圏ルート
試走会への参加



③ラーニングツーリズムの展開（空知の歴史・産業・文化を学ぶ）

- ・ 空知ヒストリー観光の実施検討
- ・ ワイン街道観光の実施検討
- ・ 食観光の実施検討

地元の子どもや観光で訪れる方を対象に、空知をフィールドに楽しみながら歴史・産業・文化を体感するラーニングツーリズムを展開します。

ヒストリー・ワイン・食をテーマに各団体の専門分野を活かしたツアー・イベントを実施しますが、これらの MIX や新たなテーマについても検討し、チャレンジしていきます。

- ・ 空知ヒストリー観光：空知の歴史や成り立ちを体験・学ぶイベントやツアーを実施します。
- ・ ワイン街道観光：空知の風土やワインを学ぶワイナリーツアーやイベント実施します。
- ・ 食観光：空知の食×旅のガストロノミー意識したツアーやイベントを実施します。



ぷらぷらまち歩き～東洋一の科学
コンビナート～人石跡地を巡る



奔別炭鉱ゲート開放・炭鉱跡地ガ
イドツアー



林間の炭鉱ホロナイ～ミカサノ炭
鉱と森林スノーシュー散策ツアー



ぶどう畑と達布山を巡るのんびり
歩き旅ツアー



冬のぶどう畑とワイナリー
見学ツアー



ワインを学ぶジオツアー
（オンラインイベント）



収穫体験イベント



新桂沢＆三笠ぼんべつダムツアー
堤体建設予定地を見学



空知川メインルート体験ツアー

④フラワーツーリズムの実施検討

四季折々、多彩な花々が楽しめる空知地域の特性を活かしフラワーツーリズムに取り組みます。

- ・春：桜、梅、菜の花 ー夏：バラ、ひまわり ー秋：コキア、紅葉
- ・冬：温室でのガーデン鑑賞 ※その他：花苗や胡蝶蘭の生産が盛ん



雨竜川の川岸を彩る桜づつみ
(沼田町)



黄色い菜の花の絨毯
(滝川市)



バラが咲き誇るローズガーデン
(秩父別町)



夏に満開になるヒマワリの里
(北竜町)



秋に赤く彩るコキア
ゆにガーデン (由仁町)



冬の間も草花を鑑賞できる
室内公園「色彩館」 (岩見沢市)

⑤各種イベントとの連携

- ・地域で開催されている各種イベントと連携・協力し、空知の魅力を広く周知します。

空知シーニックバイウェイのメンバーが積極的にイベントに参加する、企画段階から連携し地域の特色を活かしたプログラムを作り上げる、シーニックバイウェイ北海道のロゴマークを掲載し各種媒体で広報を展開するなど、各イベントに応じ関係者と効果的な連携方法を調整し、実施します。



そらちワインピクニックの協力

5. 今後の活動スケジュール

活動目標	活動方針・活動内容	具体的な活動	令和6年度												令和7年度						令和8～10年度								
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	6月	8月	10月	12月	2月	R8	R9	R10						
地域の歴史・営 みを感じる空知 ingな景観づくり	景観資源の発掘・磨き上げ[地域の成り立ちを大切に、景観資源を発掘]																												
	①ルート景観診断	・シーニックキャラバン@北・中・南空知の実施 →景観・資源調査を踏まえた保全・改善・活用方法の検討・提案 ・シーニックデッキ（視点場）の発掘・登録 (R6：当せん地展望台、砂川遊水地、奈井江大橋 3箇所)	企画・調整		実施①		企画・調整		実施②		企画・調整		実施③		企画・調整		北・中・南空知の未実施エリアで実施						全24自治体を完了、異なる季節で2巡目へ						
	暮らしの景観調査						景観調査を踏まえた保全・改善・活用方法の検討										保全・改善・活用方法の提案・試行						保全・改善・活用方法の検討・提案・実施						
	シーニックデッキ（視点場）の発掘・登録		募集	登録	景観調査にて発掘										募集	登録	景観調査で発掘				シーニックデッキ拡充：12か所以上								
	②景観づくりの情報発信 （ビューポイント・活動）	・シーニックドライブマップ等各種媒体の活用 ・ビューポイントや活動情報を発信し魅力をPR	適宜情報発信を実施												適宜情報発信を継続						適宜情報発信を継続								
	③景観美化活動 （道路・河川等）	・各団体による清掃・除草・植栽活動 （北竜町ひまわり観光協会、アイラブ・ロードあかびら推進協会、赤平ラブリバー推進協会、石狩川下寛権、砂川レイクサイドの会、日本一の直線道まちづくりの会、北海道三笠観光協会、国道みまもり隆岩見沢）	準備	清掃・除草・植栽活動					準備			除雪活動		準備	清掃・除草・植栽・除雪活動の継続						清掃・除草・植栽・除雪活動の継続								
ルーツを大切 に、未来に繋ぐ 空知ingな地域づ くり	空知ノ物語の収集・発信　【ルーツを知り、物語を紡ぐ】																												
	①広報ツールの検討・情報発信 （情報拠点・SNS等）	・空知を伝える広報ツールの検討 ・シーニックバイウェイ情報拠点での発信 (R6：炭鉱の記憶マネジメントセンター、道の駅ハウスヤルピネ井江) ・空知シーニックバイウェイ公式Facebookでの情報発信	空知を伝える広報ツール、広報連携、情報拠点登録の検討												広報ツールの検討・提案						広報ツールの試行								
	②ロード・地域PRマップの作成	・地域の歴史や文化、食、花、芸術、イベント等に関する情報整理 ・ロード・地域PRマップの作成	シーニックバイウェイ情報拠点での情報発信												募集	登録	情報発信の継続				情報拠点の拡充：4箇所以上								
			空知シーニックバイウェイ公式SNS等による情報発信												情報発信の継続						情報発信の継続								
			地域の歴史や文化、食、花、芸術、イベント等に関する情報整理												マップの仕様検討						ロード・地域PRマップの作成								
	③シーニックフォーラムの開催	・地域創生フォーラムの企画・開催（空知建設業協会）						地域創生フォーラムの企画		実施							地域創生フォーラムの企画	実施			地域創生フォーラムの継続								
	④道の駅と連携した地域づくり	・ラジオ体操、習字教室、防災（日本一の直線道まちづくり研究会）	道の駅と連携した地域づくりの活動(子どもの事業:ラジオ体操、習字の実施／防災の取り組み)												活動の継続						活動の継続・拡充								
	⑤文化や歴史（炭鉱遺産等）・芸術・食・スポー ツによる地域づくり	・空知ワイン会議（山崎ワイナリー、宝水ワイナリー） ・タ張国際ファンタスティック映画祭（NPO法人ゆうばりファンタ） ・スポーツによるまちづくり（一般社団法人SLDI・公益社団法人滝川スカイススポーツ振興協会）	文化や歴史(炭鉱遺産等)・芸術・食・スポーツ等、専門分野を活かした地域づくり活動												専門分野を活かした地域づくり活動の継続						専門分野を活かした地域づくり活動の継続・拡充								
	⑥森林・農業資源を活用した教育プログラム	・農業体験・森林体験 (そらちDEいわね、農産、三笠ジオパーク推進協議会)	森林・農業資源を活用した教育プログラムの実施												教育プログラムの継続						教育プログラムの継続・拡充								
	空知ラーニングツーリズムの展開【暮らしと学びのツーリズム】																												
暮らしに触れ る、風土を学 ぶ、空知ingな観 光空間づくり	①ルートの寄り道・周遊促進	・ソラ☆スタスタンプラリーの実施 (道の駅×空知シーニックバイウェイ関連施設)	準備	スタンプラリーの実施										結果の整理		スタンプラリーの継続						スタンプラリーの拡充:24自治体全て							
	道の駅と連携した寄り道・周遊促進								次年度、企画の検討・提案						空知全域へエリア拡大の調整						より参加しやすい仕組みの検討・提案								
	シーニックカフェの発掘・登録 （景色が良い・地域を味わえる）		募集	登録	資源調査にて発掘										募集	登録	資源調査で発掘				シーニックカフェの拡充：12か所以上								
	②サイクルツーリズム	・サイクリングツアー＆イベントの実施 ・交流事業、受け入れ環境整備（由仁観光協会、北海道三笠観光協会、アーチヒーロー、そらちバイシクルプロジェクト）	準備	サイクルツアー＆イベント(夏秋)の実施					準備		サイクル(冬)の実施			準備	サイクルツアー＆イベント(四季を楽しむ)継続						サイクルツアー＆イベントの継続								
	③ラーニングツーリズム （空知の歴史・産業・文化を学ぶ） ・空知ヒストリー観光の実施検討 ・ワイン街道観光の実施検討 ・食観光の実施検討	・空知ヒストリー観光　イベント＆ツアー (三笠ジオパーク推進協議会、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団)	準備	空知ヒストリー観光＆イベント(夏秋)の実施					準備		ツアー・イベント(冬)の実施			準備	ツアー・イベントの継続						ツアー・イベントの継続								
		・ワイナリーツアー、ワインを学ぶ (北海道三笠観光協会、山崎ワイナリー、宝水ワイナリー他)	準備	空知のワイナリーツアー、ワインを学ぶ(夏秋)の実施					準備		ツアー・イベント(冬)の実施			準備	ツアー・イベントの継続						ツアー・イベントの継続								
		・食観光 (ファームレストラン、炭鉱飯、スイーツ、米、肉、パン他)	準備	空知の食を学ぶツアー(夏秋)の検討					準備		ツアー・イベント(冬)の検討			準備	ツアー・イベントの実施						ツアー・イベントの継続								
	③フラワーツーリズム	・桜、梅、菜の花、バラ、ひまわり、コキア、ガーデン、胡蝶蘭 (北竜町ひまわり観光協会、由仁町観光協会)	準備	フラワーツーリズム(春夏秋)の検討					準備		ツアー・イベント(冬)検討			準備	ツアー・イベントの実施						ツアー・イベントの継続								
	④各地イベントでの連携	・イベントへの参加・協力 ・シーニックバイウェイロゴマークの掲載　等	桜・梅　菜の花　バラ　ひまわり　コキア　紅葉																										
			地域イベントでの連携												地域イベントでの連携の継続						地域イベントでの連携の拡充								
運営	会議名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	6月	8月	10月	12月	2月									
空知ing 会議	ルート運営代表者会議	年3回程度			会議●					会議●				会議●		会議●		会議●		会議●	会議の継続								
	プロジェクトミーティング	年4回程度	MT●					MT●			MT●		MT●		MT●		MT●		MT●		MTの継続								
	空知シーニックバイウェイキャラバン	年3回程度				北空知●				南空知●			中空知●			中空知●		北空知●		南空知●	シーニックキャラバンの継続								
	そらち地域づくり連携会議【情報提供】	空知シーニックバイウェイの活動状況を情報提供			情報提供●												情報提供●					そらち地域づくり連携会議への情報提供の継続							
	そらち道の駅ネットワーク会議【情報交換】	事務局との情報交換：年2回程度 ネットワーク会議との情報交換：年2回程度					事務局MT●	NW会議●					事務局MT●	NW会議●				事務局MT●	NW会議●	事務局	NW会議●	事務局MT・NW会議との情報交換の継続							

6.ルートの運営方針

6.1 ルートの運営体制

空知シーニックバイウェイは、以下の組織・体制で運営します。

表 空知シーニックバイウェイ組織表

役 職	氏名・活動団体
代 表	工藤 克彦 (NPO 法人日本一直線まちづくり研究会)
副代表	安田 光則 (そらち DE い〜ね)
〃	山崎 太地 ((有) 山崎ワイナリー)
〃	平野 義文 (NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団)
〃	倉内 武美 ((株)宝水ワイナリー)
〃	窪田 裕司 ((一社) 由仁観光協会)
〃	下村 圭 (三笠ジオパーク推進協会、(一社) 北海道三笠観光協会)
監 事	渡辺 康弘 ((一社) 由仁観光協会)
事務局長	植村 正人 (赤平ラブリバー推進協会・アイラブロードあかびら推進協会)
事務局	川田 孝志 ((一社) 空知建設業協会)

■活動体制について

空知シーニックバイウェイは、ルート運営代表者会議を中心に、「自治体や空知総合振興局などの関係行政機関」、「商工会・会議所、観光協会、企業」、「教育機関、町内会・子ども」と様々な方々と、ゆるやかな連携体制を構築しながら、一緒に活動することで、仲間づくりを進めていきます。

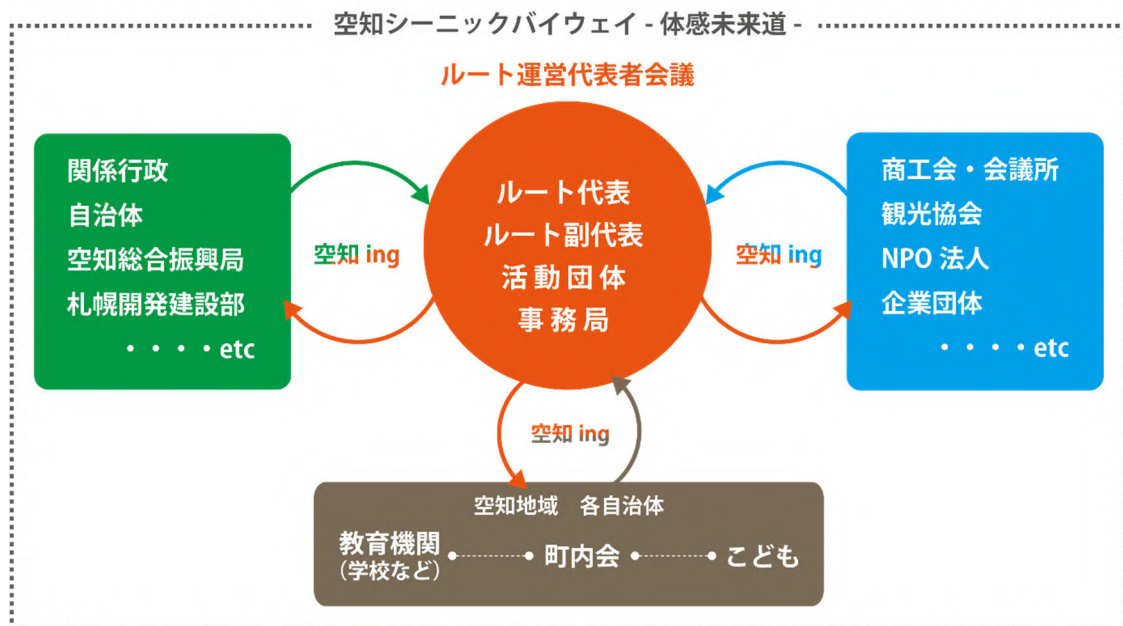


図 空知シーニックバイウェイ 体制図

5.2.ルートの活動団体

空知シーニックバイウェイの活動団体は下記の通り。参加団体の活動分野は、農・食・川・体験交流・沿道美化・地域交流・歴史遺産・観光産業・サイクル・ワイン・建設業と多岐にわたります。各団体それぞれが主軸とする活動を推進しつつ、シーニックバイウェイ北海道の三本柱である「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」の連携を意識し、空知全域で活動を展開しています。さらに活動の展開にあたっては、シーニックバイウェイの加盟団体のみならず住民や関係団体、行政機関等を巻き込みながら、地域全体でのシーニックバイウェイの活動に取り組みます。

空知シーニックバイウェイ加盟活動団体

No.	活動地域	団体名	代表者	
			役 職	氏 名
1	北竜町	北竜町ひまわり観光協会	会 長	高田 幸男
2	空知・石狩	そらち DE い〜ね	代 表	貞広 樹良
3	芦別市	星の降る里あしべつを復活させよう実行委員会	代 表	坂田 啓一郎
4	赤平市	アイラブ・ロードあかびら推進協会	会 長	植村 正志
5	赤平市	赤平ラブ・リバー推進協会	会 長	植村 正志
6	滝川市	公益社団法人滝川スカイスports振興協会	会 長	松尾 吉洋
7	砂川遊水地	石狩川下覧櫓	会 長	北谷 洋文
8	砂川市	砂川レイクサイドの会	会 長	津田 博吉
9	奈井江町	NPO 法人日本一直線道まちづくり研究会	理 事	工藤 克彦
10	空知・後志・石狩	(株) アーチ・ヒーロー北海道	代表取締役	高橋 幸博
11	空知（美瑛市）	一般社団法人そらちバイシクルプロジェクト	代 表	坂東 輝彦
12	三笠市	三笠ジオパーク推進協議会	会 長	西城 賢策
13	三笠市	一般社団法人北海道三笠観光協会	代表理事	岡本 政人
14	三笠市	(有) 山崎ワイナリー	代 表	山崎 太地
15	岩見沢市ほか	一般社団法人 SLDI	代表理事	辻本 智也
16	空知ほか	NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団	理事長	平野 義文
17	岩見沢市	国道みまもり隊岩見沢	代 表	藤田 文雄
18	岩見沢市	(株) 宝水ワイナリー	代表取締役	倉内 武美
19	南幌町	農猿	代 表	城地 真吾
20	由仁町	一般社団法人由仁町観光協会	代表理事	窪田 裕司
21	夕張市	NPO 法人ゆうばりファンタ	代表理事	上田 博和
22	空知（岩見沢市）	一般社団法人空知建設業協会	会 長	砂子 邦弘

活動団体の活動概要

1	活動団体	北竜町ひまわり観光協会	活動分類		
	活動概要	・ ひまわりまつりを中心とした観光事業の企画・運営・推進 ・ 環境美化運動の推進（国道・道道・各公共施設等の花壇、プランター設置等） ・ 観光の宣伝・観光客誘客促進事業の実施 ・ 観光事業の調査研究	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	北竜町内	●	●	●
					
2	活動団体	そらち DE い〜ね	活動分類		
	活動概要	雄大な自然や多くの温泉施設、大都市との近接性といった空知の特色を活かし、管内で都市農村交流に取り組んでいる団体が広域的な連携を図り、体験型の都市住民とのふれあいの機会を増やすとともに、農業・農村体験を通して、空知を訪れる人に「学び」、「癒し」、「感動」を与えていく活動中です。	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	空知・石狩地区	●	●	●
					

3	活動団体	星の降る里あしべつを復活させよう実行委員会	活動分類		
	活動概要	市内外の星好きな有志があつまり、「星の降る里」あしべつを盛り上げようと活動する団体です。 「星の降る里」を目的に訪れる観光客など交流人口の増加と、市民の星への親しみと理解の増進を目指しています。 「星」を売りにして成功している道外観光地の視察や勉強会の実施や、市内宿泊施設と連携して火星まつりやスターウォッチングなどの観望イベントも実施しています。	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	芦別市	●	●	●
 					
4	活動団体	アイラブ・ロードあかびら推進協会	活動分類		
	活動概要	赤平バイパスの開通を初め、道路環境が大きく変わりつつあった平成5年、潤いとやすらぎのある“道づくり”、道路を軸とした“まちづくり”を目指す全市的な市民団体として発足されました。 民間の発想・行動で道路奉仕（清掃・植花・花壇の整備）、道路を利用したイベントの開催・道路の愛護思想の啓蒙活動を行い、生活に密着した道路をみんなで愛して護っていくことを設立の精神としています。	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	赤平市	●	●	●
  					

5	活動団体	赤平ラブリバー推進協会	活動分類		
	活動概要	昔から私達の生活と密接している赤平市の中心を流れる空知川。潤いとやすらぎのある”川づくり”、川を軸とした”まちづくり”を目指す全市的な市民団体として発足されました。 河川敷の清掃・草刈及び植花・植栽、河畔利用のイベントの開催など市民の憩いの場となる空知川を創造し河川愛護の啓蒙活動を行い、自然に溢れた綺麗な川をみんなで愛して護っていくことを設立の精神としております。	景観	地域	観光
	活動範囲	赤平市	●	●	●
					
6	活動団体	公益社団法人滝川スカイスポーツ振興協会	活動分類		
	活動概要	この法人は、滝川を中心とした北海道の優れた地域資源を生かしながら、スカイスポーツ文化の振興とスカイスポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与し、地域社会の発展に貢献することを目的としています。 (1) スカイスポーツを通じた青少年の健全育成に関する事業 (2) グライダーの科学技術及び操縦技術・整備技術等の伝承に関する事業 (3) スカイスポーツを通じた地域社会の健全な発展に寄与する事業 (4) グライダー文化の振興に関する事業 (5) スカイスポーツに関する調査研究 (6) スカイスポーツに関する機材及び施設の整備 (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	景観	地域	観光
	活動範囲	滝川市	●	●	●
					

7	活動団体	石狩川下覧櫓	活動分類		
	活動概要	石狩川を昔のように、川と親しみ遊べる川へ戻るようお願いを含め、砂川遊水地を拠点とし、様々な活動やイベントを開催しています。 ・5月 砂川遊水地周辺のゴミ拾い ・7月 石狩川川下り、夏の夕べ、水上体験学習 ・2月 砂川冬まつり ジャンボ滑り台、アイスカルーセル、かまくらの作成、スノーラフティング ・3月 砂川遊水地 遊歩道の除雪 延長 5.6 k m	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	砂川遊水地	●	●	●
					
8	活動団体	砂川レイクサイドの会	活動分類		
	活動概要	砂川オアシスパーク周辺の環境保全と美化活動	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	砂川市	●	●	●
					
9	活動団体	NPO 法人日本一直線道まちづくり研究会	活動分類		
	活動概要	・公共施設指定管理運営（奈井江町体育館、プール、道の駅） ・ボランティアサポートプログラムに登録し、国道 12 号沿線の清掃活動・花植え、歩道の除雪など ・地元産特産品を使った商品の開発販売 ・ハイテクステーション化事業への取組（子ども向け学習教室、夏休み期間のラジオ体操実施等） ・スポーツ交流事業（サイクリング、バトミントン等） ・地域交流事業（町内施設を活用したイベント開催等、空知ノ物語） ・シーニックデッキ、道の駅防災拠点の整備	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	奈井江町	●	●	●
					

10	活動団体	(株)アーチ・ヒーロー北海道	活動分類		
	活動概要	アドベンチャー・サイクル・インバウンドツーリズムが地方に果たす稼ぐ広域型着地観光ブランド作りと受け入れ観光商品造成を目的に地方と国内外とのネットワーク作りとビジョン共有を長年実施しています。インバウンドが多く訪れるニセコ地域から空知への誘客として海外（台湾、香港、シンガポール、オーストラリア等）、地域外からのサイクリングツアーを12年間に渡り実施しました。そのフィードバックを官民に伝える為、空知サイクルツーリズム推進連絡会議設立の為、複数の空知の自治体と協働し、サイクリング、アドベンチャー、インバウンドのツアー受け入れを支援しています。空知においては、空知バイシクルプロジェクトや美唄サイクリングクラブとのインバウンドサイクリングツアー受入を協働しています。 ・インバウンド向けのサイクリングツアーをプロデュース、主催 ・滞在型観光商品のセールス（個人旅行、エージェント向け） ・自転車を使ったまちづくりを学ぶ講演会、フォーラム、ワークショップの開催 ・子ども向け自転車安全教室の実施 ・自転車活用推進事業の助言、他の先進地の事例共有を伴うセミナー開催 ・レンタル自転車事業	景観	地域	観光
	活動範囲	空知、後志、石狩	●	●	●
11	活動団体	そらちバイシクルプロジェクト	活動分類		
	活動概要	世界水準を目指した空知の観光ディスティネーションと空知ライフスタイルを示す為、「自転車」を使った自然、産業、食、文化、体験のイメージとモデルを作ることを活動の趣旨としています。また、空知で活動するアドベンチャー、自転車、まちづくりの趣向者、実践者を募り、自転車活用したまちづくりの知見の共有と協働の為の場を作っています。	景観	地域	観光
	活動範囲	空知地域（美唄市）	●	●	●
					

12	活動団体	三笠ジオパーク推進協議会	活動分類		
	活動概要	北海道という島の成り立ちや北海道開拓の歴史等を踏まえ、「ジオパーク」、「日本遺産[炭鉄港]」、アンモナイトを中心とした化石など、地域ならではの物語に加え、ガストロノミーを意識した食事と文化の関連性を MIX し、ワイン・ワイナリーまでも加えた、地域のリソースを総合的に結び付けた観光・教育活動を展開しています。 ・ジオ、エコ、ヒトを繋げたツーリズムの展開（産業遺産、インフラツアー、サイクリングツアー、ラフティング、農業体験、ワイナリーツアー等） ・全国各学校を対象とした教育旅行の受入 ・学校教育、社会教育における講座等の実施 ・地質遺産、産業遺産等の保護保全及び景観整備 ・イベント、体験ワークショップ ・空知及び三笠の成り立ちなど等の説明、講座 （※受入実績：R5 年度 6,823 名、R4 年度 6,683 名）	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	三笠市全域	●	●	●
					
13	活動団体	一般社団法人北海道三笠観光協会	活動分類		
	活動概要	1 億年前に形成された化石、5 千万年前の植物の痕跡である石炭、およそ 150 年前の北海道開拓に伴う炭鉱や鉄道などの産業遺産、そして地ワインをはじめとする現在の地域の人々の暮らしまで、1 億年という時間軸を通じて数々の地域資源をつなぐストーリー「三笠 1 億年のモノ語り」をグランドデザインとして、ツーリズム、特産品等の開発及び販売、イベント、マーケティングなどを展開しています。 ・ツーリズム（旅行業（地域限定）） （※うち、R5 年度空知シーニックバイウェイ連携ツアー8 回 124 名） ・地元特産品等商品販売及び新商品開発・マーケティング分析 ・国道 12 号（道の駅三笠周辺）清掃活動	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	三笠市全域	●	●	●
					

14	活動団体	(有)山崎ワイナリー	活動分類		
	活動概要	・醸造用葡萄の栽培及びワイン醸造、ワイン販売事業を通して、地域に新しい農村文化の形成に取り組む。	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	三笠市	●	●	●
  					
15	活動団体	(一般社団法人 SLDI (Sports Life Design Iwamizawa))	活動分類		
	活動概要	地域スポーツクラブ SLDI(一般社団法人 SLDI)は北海道岩見沢市を【育成の先進地にし、世界から注目されるクラブへ】を掲げる総合型地域スポーツクラブです。北海道教育大学岩見沢校と連携協定を締結し、科学の力を活用した運動指導をしています。特に幼少期、中学校期に着目し現代にあった運動指導の展開を心がけています。スポーツが楽しいと感じられ、運動やスポーツを生涯続けられる心身を育成します。また、スポーツクラブとして9種目のスポーツクラブを展開し、根幹には科学の力を添えて、運動プログラムを提供しています。約300名のクラブ会員が所属しています。 その他には教育事業として、小学校や幼稚園保育園の体育、スポーツの時間に運動指導実施しています。 人材育成事業としては、北海道道内はもちろん、道外へも講師と呼ばれる、大人と子どものスポーツにおける人材育成を行っています。 行政とも連携して、市内の様々な取り組みを実施。昨今の課題である部活動の地域移行問題にも取り組み、スポーツによるまちづくりにも力を入れています。	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	岩見沢市内を中心とする道内	●	●	●
  					

16	活動団体	NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団	活動分類		
	活動概要	当法人は、空知旧産炭地域の人々や当該地域を訪れる人々とともに、有形・無形の炭鉱遺産を将来にわたって継承、公開することで、歴史的文脈の意義及び価値の認識に基づいた地域の活性化に寄与することを目的としています。 その目的達成のため周辺地域のガイダンス的役割を担う「そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター」を岩見沢駅近くに常設。さらに各種遺構等の価値向上や魅力伝播活動、ガイド事業や各種展示、フォーラム開催、シンクタンク機能等々を展開すると共に、趣旨に賛同していただける人々を増やす取り組みをしています。また夕張市石炭博物館の指定管理を受託、運営を行っています。 これらの活動の延長線上に 2019 年に日本遺産に認定された〈本邦国策を北海道に観よ！北の産業革命「炭鉄港」〉があり、その推進にも積極的に活動しています。	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	旧産炭地をはじめ、日本遺産「炭鉄港」に関連する地域（空知、小樽、室蘭、安平、江別など）			
					
17	活動団体	国道みまもり隊岩見沢	活動分類		
	活動概要	1.草刈-国道 234 号～中央通まで街路樹樹（花植箇所除く）年 5 回 -4 条通三角地（大和町）年 4 回 2.花植（ペゴニア） -すき家前、ほさか眼科前、ローソン前、天理教夕張大教会前、アパマンショップ前、郵便局前、北電前、カツイ前、トヨタ前、公益社前 総延長 221m 15 樹 3.花植（チューリップ）-天理教夕張大教会前 4.清掃-国道 234 号～中央通まで年 2 回 大利休憩駐車場 年 3 回	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	岩見沢市			
					

18	活動団体	(株)宝水ワイナリー	活動分類		
	活動概要	・ブドウ栽培、醸造、ワイン販売、ソフトクリーム販売 ◇主な参加イベント - そらちワインピクニック - いわみざわ情熱フェスティバル ◇ワイナリー見学受入	景観	地域	観光
	活動範囲	岩見沢市	●	●	●
					
19	活動団体	農猿	活動分類		
	活動概要	農猿（のうえん）は、北海道南幌町の若者たちで結成したチームです。次世代へ農業の魅力を伝えていくことを目指しています。子供たちが「農業ってかっこいい」と思ってくれるような、活気ある街づくりに貢献するべく活動しています。 夏に南幌町内で開催するお祭り「野祭」を中心に、農業体験や加工商品の開発など新しいことにチャレンジして「農業は楽しい」を広げていきます。	景観	地域	観光
	活動範囲	南幌町	●	●	●
					

20	活動団体	(一社) 由仁町観光協会	活動分類		
	活動概要	・観光案内と誘客の推進 ・サイクルイベントによる観光の推進（5月・7月・9月・2月） ・ポタリング（サイクリングと収穫体験等） ・スノーライド（冬期のサイクリング） ・特産品の製造、販売とブランド化の推進 ・町内飲食店と農産品ブランドの連携 ・町内外各種イベントへの出店 ・施設管理業務の受託（指定管理）	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	由仁町			
  					
21	活動団体	NPO 法人ゆうばりファンタ	活動分類		
	活動概要	・幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば管理運営 夕張市より指定管理を受け、山田洋次監督・高倉健・倍賞千恵子主演の映画「幸福の黄色いハンカチ」のロケ地を運営し、年間2万人ほどのお客様を受け入れしています。 ・ゆうばり国際ファンタスティック映画祭主催 1990年よりスタートした本映画祭は、2006年夕張市が深刻的な財政難に陥り2007年開催予算打切りが決定されました。 夕張市で17回（17年）開催された本事業は、地域の文化活動として根付き、市民が夕張（空知・北海道）を世界に発信可能な文化活動として続けていくため、2008年より当団体が主体となり復活させました。 財政が破綻し、夕張市の傷跡は今も残る中で旧産炭地として諦めない姿勢を、本事業を通じて活動し続けています。	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	夕張市			
  					

22	活動団体	(一社) 空知建設業協会	活動分類		
	活動概要	・道の駅と連携したルート内スタンプラリーの協賛 ・そらちワインピクニックの協賛 ・地域資源を活かした地域づくり、魅力ある観光空間づくりについて討論するフォーラムの開催	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	空知（岩見沢市）	●	●	●
  					

7.ルートの活動実績

7.1 空知シーニックバイウェイの活動経過

2018 年の候補ルート登録迄、及び、候補ルート登録後から現在に至る活動経過を紹介します。

候補ルート登録までの活動経過

年	月	活動内容	実施内容
2009 年	－	空知の魅力発掘調査	地元おすすめ情報収集（アンケート形式）
2010 年	－	地域勉強会 & 仲間づくり交流会	講師：支笏洞爺ニセコルート
2012 年	－	地域活動	空ふわによる空知情報発信
2013 年	－	地域活動	空ふわによる空知情報発信
2014 年	－	地域勉強会	第 1 回講師：SBW 支援センター 第 2 回講師：萌える天北オロロンルート
2015 年	－	勉強会	推進協議会事務局(講師：和泉道計課長(当時))
		意見交換	北海道開発局 札幌開発建設部 内容：管内ルート事例とルート立ち上げ
2016 年	2 月	意見交換	北海道開発局 札幌開発建設部
	8 月	意見交換	北海道開発局 札幌開発建設部
	10 月	意見交換会	空知総合振興局
	10 月	そらち SBW 周知活動	各自治体役所（24 市町）
	11 月	地域創生フォーラムの開催	ワイン・サイクリングを題材とした広域連携
2017 年	7 月	意見交換	北海道開発局 札幌開発建設部
	11 月	地域創生フォーラムの開催	農業による地域づくりと SBW 座談会を実施
	12 月	そらち SBW の周知活動	商工会議所、商工会、観光協会（24 市町）
	12 月	意見交換（札幌開建）	北海道開発局 札幌開発建設部
2018 年	2 月	第 1 回 そらち SBW 準備委員会	各団体の活動、シーニックの立ち上げに向けて
	3 月	第 2 回 そらち SBW 準備委員会	テーマ・基本方針・活動内容に関する意見交換
	4 月	そらち SBW 奈井江ミーティング	空知シーニックで実現したい「こと」
	5 月	第 3 回 そらち SBW 準備委員会	ルート運営活動計画骨子（案）の検討
	6 月	ルート運営代表者会議の設立	ルート運営活動計画骨子の決定・申請
	11 月	そらち SBW 候補ルートに登録	シーニックバイウェイ推進協議会にて登録



地域創生フォーラム(2017 年)



第 1 回 そらち SBW 準備委員会

候補ルート登録後の活動経過

年	月	活動内容	実施内容
2018 年	11 月	地域創生フォーラムの開催	これからの空知を考える座談会を実施
2019 年	2 月	意見交換	空知の地域づくり活動団体との連携
	2 月	第 3 回ルート運営代表者会議	規約の制定、活動報告・計画、各団体の活動状況確認
	3 月	意見交換	空知総合振興局との連携に向けて
	7 月	第 1 回ルート運営代表者会議	活動報告、活動計画
	9 月	事業推進会議	サイクリング事業の企画
	10 月	石狩川サイクリングルートモニターツアーの開催	サイクリングルートの価値、経済効果、問題点を調査
	11 月	地域創生フォーラムの開催	空知シーニックバリエイ活動に対する期待や魅力の発信
	12 月	第 2 回ルート運営代表者会議	空知ノ物語、川下り、ビューポイント P の検討
2020 年	1 月	第 3 回ルート運営代表者会議	シーニックの森検討、道の駅連携、ネットワークづくり
	2 月	滝川地方法人会 講演	空知シーニックの活動紹介、協力依頼
	3 月	意見交換	空知総合振興局との連携に向けて
	5 月	奈井江道の駅パンプトラックコース開放	地域交流
	6 月	第 1 回ルート運営代表者会議	事業活動プロジェクトチーム選定、ビューポイントの発掘
	8 月	道の駅スタンプラリーとの連携打合せ	道の駅以外の市町関連施設候補の検討
	9 月	空知川メインルート体験テストツアー	川下り体験、炭鉱施設、ビューポイントの視察かわたびと連携
	10 月	石狩川流域圏試走会	サイクルツーリズムの体験、視察
	11 月	地域創生フォーラムの開催	空知の未来を創造・発展に向けた座談会
2021 年	3 月	第 3 回ルート運営代表者会議	活動報告、活動計画、そらちワイン街道とのコラボ検討
	4 月	ソラ★スタ スタンプラリー開催	道の駅ネットワーク会議と共催 12 駅+4 施設
	8 月	第 1 回ルート運営代表者会議	活動報告、活動計画（体験ア、空知ノ物語、地域交流）
	10 月	空知川メインルート体験ツアー	川下り体験、炭鉱施設視察：かわたびと連携
	11 月	地域創生フォーラムの開催	地域性の考え方、豊かな未来づくりについての座談会
2022 年	3 月	そらち SBW の周知活動	そらち広域観光協議会にて活動状況報告
	4 月	ソラ★スタ スタンプラリー開催	道の駅ネットワーク会議と共催 12 駅+5 施設
	7 月	第 1 回ルート運営代表者会議	活動報告、活動計画（シーニックデッキ、カフェ登録）
	11 月	地域創生フォーラムの開催	地域社会の未来について座談会
	11 月	指定ルートに向けた打合せ	空知総合振興局へ関係市町への意見照会に向けた協力依頼
	12 月	第 2 回ルート運営代表者会議	活動報告、指定ルートへ向けた今後の展開
2023 年	4 月	ソラ★スタ スタンプラリー開催	道の駅ネットワーク会議と共催 12 駅+5 施設
	5 月	第 1 回ルート運営代表者会議	活動報告・計画（キャンプ、ジオパーク）、審査委員視察
	6 月	そらち地域づくり関係会議	24 市町へ活動に対するご理解・ご協力をお願い
	7 月	苫前商業高校ツーリング事業	萌える天北オロロンルートと共催。地域の PR
	8 月	三笠ジオパークジオツアー	地域資源の活用、ワイナリーツーリズムの可能性
	8 月	空知シーニックバリエイキャンプ 南空知	空知の景観・地域資源の共有、仲間づくり （由仁町・長沼町・南幌町・栗山町）

	9 月	ルート審査委員現地視察	活動状況 景観・地域資源の優位性を確認。ルート指定に向けた助言
	10 月	五感で「空ヲ知ル」 空知ing!!アイデアソン	空知地域の資源を視察・体験するワークショップ
	11 月	北陸風景街道交流会議	自治体との連携事例について紹介、空知SBW のPR
	11 月	地域創生フォーラムの開催	スポーツを通じたまちづくり（ファイターズ 道教大）
2024 年	2 月	空知シーニック・ウェイキャラバン〜冬の寄り道編	冬の景観・観光資源の発掘、イベント体験（国道 12 号・たきかわ紙袋ランタンフェスティバル）
	3 月	空知シーニック・ウェイキャラバン 北空知	空知の景観・地域資源の共有、仲間づくり（秩父別町・妹背牛町）
	3 月	第 2 回ルート運営代表者会議	活動報告、活動計画、指定ルート申請について
	4 月	ソラ★スタ スタンプラリー開催	道の駅ネットワーク会議と共催 12 駅+10 施設
	6 月	第 1 回ルート運営代表者会議	指定ルート申請に向けた活動計画の整理
	6 月	そらち地域づくり関係会議	24 市町へ活動報告、指定ルート申請に向けた意見照会の依頼
	7 月	空知シーニック・ウェイキャラバン 北空知	空知の景観・地域資源の共有、仲間づくり（北竜町・沼田町）



地域創生フォーラム 14(2019 年)



滝川地方法人会 講演（2020 年）



空知川体験ツアー（2020 年）



空知川体験ツアー（2021 年）



ジオパークツアー（2023 年）



空知 SBW キャラバン@南空知（2023 年）

7.2 ルートの活動実績

2018年の候補ルートに登録後から、2024年に実施した代表的な活動を紹介します。

空知シーニックバイウェイの活動実績例									
	年度	活動名	景観	地域	観光	全体	広域連携	単年度	継続
1	2018	雪景色の中、つくり手の想いを知る空知ワインの探求	●		●	協力		●	
2	2019	河川清掃 石狩川下覧権(くだらんかい)							(～2024)
3	2019	宙を知る (SORACHI)ワイン会			●	後援		●	
4	2019	石狩川下覧権～川下り、水上体験学習 他	●	●					(～2024)
5	2019	そらちワインピックニック			●	後援			(～2024)
6	2019	地域資源調査：滝川編 滝川スカイパーク視察	●		●	主催			
7	2019	石狩川流域サイクリングルートモニタリングツアー	●		●	主催		●	
8	2019	地域創生フォーラム		●		後援			(～2024)
9	2022	EKARA祭り	●		●				(～2023)
10	2022	日本建築学会大会 研究協議会（農村計画部門）エクスカージョン	●	●				●	
11	2022	北海道建青年会 全道大会（岩見沢）ポスター掲示		●				●	
12	2022	北の道普請WS@空知	●	●					(～2023)
13	2022	ぶらぶらまち歩き2022	●	●	●				(～2024)
14	2023	ソラ★スタスタンプラリー2023		●	●	共催			(～2024)
15	2023	ソラ★スタスタンプラリー2024に向けた自治体協議	●	●	●				
16	2023	萌える天北オロロンルート 自転車ツーリング事業		●		連携	萌天 ●	●	
17	2023	石狩川流域圏ルートサイクル試走会in空知	●	●	●	参加			
18	2023	五感で空を知る!!空知ingアイデアソン		●		参加			(～2024)
19	2023	空知シーニックキャラバン@南空知	●	●	●	主催			(～2024)
20	2023	空知シーニックキャラバン@北空知	●	●	●	主催			(～2024)
21	2023	空知シーニックキャラバン@冬の寄り道	●	●	●	主催			(～2024)
22	2024	空知シーニックキャラバン@北空知	●	●	●	主催			(～2024)

ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト：エントリー活動									
	年度	活動名	景観	地域	観光	全体	広域連携	単年度	継続
1	2019	”道の駅”からはじめる空知サイクルツーリズム			●				(～2024)
2	2019	これからの空知を考える～地域創生フォーラム		●					(～2024)
3	2020	かわたびほっかいどう×空知シーニックバイウェイ 空知川メインルート体験テストツアー	●						(～2024)
4	2021	ひとつひとつの町に物語があります～ ルーツを知り、物語を繋ぐ『空知ノ物語』		●					(～2021)
5	2022	～そらち「道の駅」×空知シーニックバイウェイ 「ソラ★スタ」スタンプラリー			●				(～2024)
6	2023	～ジオパーク×シーニックバイウェイ×かわたび～ 空知にしかない物語・体験五感で巡るジオパークツアー			●				

シーニックデッキ&カフェ									
	年度	活動名	景観	地域	観光	全体	広域連携	単年度	継続
1	—	シーニックデッキ①～③	●		●				(～2024)
2	—	シーニックカフェ①～⑥	●	●	●				(～2024)

(1) 空知シーニックバイウェイの活動実績例

空知シーニックバイウェイの活動実績例（再掲）									
	年度	活動名	景観	地域	観光	全体	広域連携	単年度	継続
1	2018	雪景色の中、つくり手の想いを知る空知ワインの探求	●		●	協力		●	
2	2019	河川清掃 石狩川下覧権(くだらんかい)							(～2024)
3	2019	宙を知る (SORACHI)ワイン会			●	後援		●	
4	2019	石狩川下覧権～川下り、水上体験学習 他	●	●					(～2024)
5	2019	そらちワインピクニック			●	後援			(～2024)
6	2019	地域資源調査：滝川編 滝川スカイパーク視察	●		●	主催			
7	2019	石狩川流域サイクリングルートモニタリングツアー	●		●	主催		●	
8	2019	地域創生フォーラム		●		後援			(～2024)
9	2022	EKARA祭り	●		●				(～2023)
10	2022	日本建築学会大会 研究協議会（農村計画部門）エキスカッション	●	●				●	
11	2022	北海道建青年会 全道大会（岩見沢）ポスター掲示		●				●	
12	2022	北の道普請WS@空知	●	●					(～2023)
13	2022	ぶらぶらまち歩き2022	●	●	●				(～2024)
14	2023	ソラ★スタスタンプラリー2023		●	●	共催			(～2024)
15	2023	ソラ★スタスタンプラリー2024に向けた自治体協議	●	●	●				
16	2023	萌える天北オロロンルート 自転車ツーリング事業		●		連携	●	●	
17	2023	石狩川流域圏ルートサイクル試走会in空知	●	●	●	参加			
18	2023	五感で空を知る!!空知ingアイデアソン		●		参加			(～2024)
19	2023	空知シーニックキャラバン@南空知	●	●	●	主催			(～2024)
20	2023	空知シーニックキャラバン@北空知	●	●	●	主催			(～2024)
21	2023	空知シーニックキャラバン@冬の寄り道	●	●	●	主催			(～2024)
22	2024	空知シーニックキャラバン@北空知	●	●	●	主催			(～2024)

『雪景色の中、つくり手の想いを知る 空知ワインの探求～VINFROMAGE 食体験～』

- 【概要】北海道のワインと景色を楽しむ旅、空知編。雪深く、厳しい自然に耐え抜いた果実で、寒さの中で丹念に醸造する。そんな空知地域で育まれるワインの世界を探求する。宝水ワイナリーと山崎ワイナリーの2つのワイナリーの作り手から、ワイン造りへの想いと空知ワインの楽しみ方をレクチャー。昼食は、出張シェフによる北海道の素材を中心とした空知ワインとのマリアージュを楽しみます。雪と寒さがつくるワインの魅力を堪能する一日です。
- 【日時】2019年2月23日（土）9:00～17:00
- 【場所】①いわみざわ公園室内公園色彩館⇒②宝水ワイナリー⇒③ノースファームストック⇒④輪厚SA
- 【主催】さほーとさっぽろ
企画：シーニックバイウェイ支援センター／協力：空知シーニックバイウェイ 体感未来道
- 【参加人数】30名



『第20回 石狩川下覧櫓(くだらんかい)河川清掃』

【概要】 空知管内の建設業者15社を中心に河川管理者そして砂川市民2名の参加を頂き、過去最多の計107名で、20回目の河川清掃を実施しました。参加者が過去最多となりましたが、毎年やっている甲斐があり、拾ったゴミの量は過去最少。来年も継続して実施していく。

【日時】 2019年5月10日(土)

【場所】 砂川遊水地

【主催】 石狩川下覧櫓

共催：札幌開発建設部滝川河川事務所

石狩川振興財団

参加：空知シーニックバイウエイ

【参加者】 107名



第20回 石狩川下覧櫓 河川清掃
in砂川遊水地 多謝者募集！

開催日 令和元年5月10日(土)
開催場所 砂川遊水地周辺
集合場所 砂川遊水地管理棟前
集合時刻 午前9時開会式
終了時刻 午前11時

雨天決行します！

お問い合わせ先 石狩川下覧櫓実行委員会(砂川市役所)
主催 石狩川下覧櫓
共催 札幌開発建設部滝川河川事務所 石狩川振興財団
参加 空知シーニックバイウエイ
ご参加の際は、石狩川下覧櫓実行委員会へご連絡ください。

TEL: 0125-65-5221 (事務局) 増井 隆
FAX: 0125-65-5222 (事務局) 増井 隆
Eメール: kaido@shikokawa.co.jp
ホームページ: www.shikokawa.co.jp
Facebook: shikokawa.co.jp



『第24回 石狩川下覧櫓(くだらんかい)』

【概要】 砂川遊水地を中心に、川下り・夏のタベ・水上体験学習と様々な取組が開催されました。

【日時】 2019年7月20日(土)9:00～・21日(日)14:30まで

【場所】 砂川遊水地

【主催】 石狩川下覧櫓

後援：北海道開発局札幌開発建設部・石狩川振興財団・砂川市・砂川商工会議所・空知建設業協会・北海道カヌー協会・砂川ゆめまちづくり協議会・空知シーニックバイウエイ・砂川ヨットカヌー協会・マリスクラブ北海道

協賛：砂川建設協会・砂川観光協会・B&G財団砂川海洋クラブ・カヌー高度利用研究会・砂川下覧櫓・新十津川下覧櫓

【参加人数】 30名



第24回 石狩川下覧櫓
令和7月20日(土) 夏のタベ(新着) 川下り(新着) 砂川遊水地2km
7月21日(日) 川下り(新着) 砂川遊水地2km
ヨットカヌー体験教室(砂川市役所)

主催：石狩川下覧櫓

お問い合わせ先 石狩川下覧櫓実行委員会(砂川市役所)
TEL: 0125-65-5221 (事務局) 増井 隆
FAX: 0125-65-5222 (事務局) 増井 隆
Eメール: kaido@shikokawa.co.jp
ホームページ: www.shikokawa.co.jp
Facebook: shikokawa.co.jp

後援：『そらちワインピクニック2019』

【概要】 質の高いワイン造りにこだわるワイナリーやヴィンヤードが集まる空知。今年はワインピクニックに13の生産者が集まり、希少価値の高いそらちワインと秋の味覚のマリアージュを存分に楽しむ一日となりました。空知シーニック副代表山崎太地氏が2019年の実行委員長をつとめました。

【日時】 2019年8月24日（土）10:00～15:00

【場所】 岩見沢駅東市民広場
（岩見沢市有明町南1番地14）

【主催】 そらちワインピクニック実行委員会
後援：空知シーニックバイウェイ



『地域資源調査：滝川編』

【概要】 空知シーニックバイウェイのメンバー有志にて、滝川編として滝川スカイパーク、地域イベント「そらちワイン×ワインFesta」等、地域資源をた視察・体験

【日時】 2019年8月31日（土）12:00～20:00

【場所】 滝川市内

【主催】 空知シーニックバイウェイ



『石狩川流域サイクリングルート モニタリングツアー』

- 【概要】 ●目的：北海道5大サイクリングルートの一つである「石狩川流域圏サイクリングルート」と地域観光拠点をサイクリングルートで繋ぎ、サイクリングルート上の役割、価値、経済効果、問題点を調査する。得られたデータを空知シーニックバイウエイの参加者、関係者に共有する。模擬サイクリングガイドツアーを実際に体験すること。
●事業内容：奈井江道の駅から北海道開発局5大サイクリングルートの1つである「石狩川流域サイクリングコース」と「空知の観光拠点」を巡るサイクリングコースを作り、空知SBWのメンバーで実際にモニタリングツアーを行った。
- 【場所】 スタート：奈井江道の駅⇒砂川オアシス（視察、説明）⇒滝川スカイパーク（視察）⇒砂川北葉楼（休憩）⇒奈井江道の駅到着（ランチ、意見交換）
- 【主催】 空知シーニックバイウエイ、奈井江道の駅
後援：後援 株式会社アーチ・ヒーロー北海道（サイクリングツアーガイド事業）
空知サイクルツーリズム推進協会、他



▲サイクリングスタート場所 奈井江道の駅



▲砂川オアシスパーク

▲北葉楼 本店



ここでしか見
れない!!グ
ライダーの
離発着



特製ラン
チBOX



自転車
教室

▲道の駅ハウスヤルビ奈井江「サイクル拠点化」へ

『地域創生フォーラムXIV』

- 【概要】 空知地方の経済活性化を図るため、地域の元気を取り戻すイベントとして講演会を開催。2016年からは空知管内におけるシーニックバイウエイをテーマに、地域・行政・団体・町内会等が連携した「地域資源を活かした活力ある地域づくり・魅力ある観光空間づくり」「子どもたちの未来」「これからの空知」に向けた今後の活動と可能性を模索
- 【日時】 2019年11月18日（月）【場所】 岩見沢市
- 【主催】 主催：（一社）空知建設業協会 後援：空知総合振興局／札幌開発建設部／空知地方総合開発期成会／岩見沢商工会議所／（一社）北海道建設業協会／（一社）シーニックバイウエイ支援センター 協賛：（株）北海道新聞社／（株）北海道建設新聞社／（株）北海道通信社／（株）空知新聞社



『シーニックカフェ:EKARA祭り』

- 【概要】 シーニックカフェ 畑の中のレストランEKARAにて、収穫した野菜と地元のワインを美味しくいただくEKARA祭りを開催。子ども達を対象に、三笠すすき農園で育った野菜の収穫体験を実施。
- 【日時】 2022年8月31日（日）【場所】 三笠市
- 【主催】 畑の中のレストランEKARA／（株）三笠函すすき農園



『日本建築学会大会 研究協議会 エクスカーション 』

- 【概要】 日本建築学会大会 研究協議会（農村計画部門）のエクスカーションとして、空知シーニックバイウェイへ立ち寄り。ブドウ畑の中でワインづくりのお話を聞く。
- 【日時】 2022年9月6日（火）【場所】 岩見沢市
- 【主催】 日本建築学会大会 研究協議会



『北海道建青会 全道大会（岩見沢） ポスター掲示』

- 【概要】北海道建青会全道大会（岩見沢）／空知建設業協会（空知経営研究会）
※空知シーニックバイウェイポスター掲示
- 【日時】2022年9月9日（金）【場所】岩見沢市
- 【主催】北海道建青会



『ぶらぶらまち歩き 2022』

- 【概要】ぶらぶらまち歩きは、まちの宝物を見つけるために時速 4キロのペースで歩くガイドツアー。滝川市では「東洋一の化学コンビナート」の人石跡地を巡りました。また、人造石油工場跡地を訪れ、その面影に触れることができました。
- 【日時】2022年9月23日（金・祝）【場所】滝川市
- 【主催】NPO炭鉱の記憶推進事業団



『北のみち普請WS@空知』

- 【概要】 北のみち普請WS @空知 にて、空知シーニックバイウェイの活動報告を実施。
シーニックカフェ 畑の中のレストランEKARAのケータリングで懇親会を行った。
- 【日時】 2022年10月20日（木）・21日（金）【場所】 三笠市・美唄市
- 【主催】 北のみち普請



『シーニックバイウェイのPR』

- 【概要】 国際自動車連盟（FIA）公認：十勝スピードウェイにて空知シーニックバイウェイのPR。
- 【日時】 2022年
- 【主催】 空知建設業協会メンバーが実施



そらち「道の駅」×「シーニックバイウェイ」スタンプラリー 『ソラ☆スタ2023』

- 【概要】 空知シーニックバイウェイでは、空知管内12の道の駅とシーニックバイウェイ5の関連施設が連携して、「地域版スタンプラリー」を開催することによって空知管内の周遊促進と活性化および空知地域の魅力の再発見を目指す目的で実施しました。比較的チャレンジしやすいスタンプラリーで、ラリー帳には空知のイベント情報が掲載されているほか、QRコードを読み込むと空知管内の観光情報を入手できます。対象の施設すべてのスタンプを集めて応募すると、抽選で203名に空知エリアの特産品などが当たります。スタンプを集めながら、空知管内の風光明媚な景観や対象施設で地域の特産品を楽しむことも出来ます。
- 【期間】 2023年4月22日（土）～2024年1月21日（日）
- 【主催】 空知シーニックバイウェイ-体感未来道-、そらち「道の駅」ネットワーク会議
- 【協賛】 （一社）空知建設業協会、北海道コカ・コーラボトリング（株）、ポッカサッポロ北海道（株）
- 【後援】 東日本高速道路（株）北海道支社、北海道空知総合振興局、国土交通省北海道開発局札幌開発建設部



ソラ☆スタ2023 スタンプラリー帳



ソラ☆スタ2023 ポスター



ソラ☆スタ設置箇所
（道の駅マヨイの丘公園 長沼町）

『そらち「道の駅」×「シーニックバイウェイ」スタンプラリー ソラ☆スタ2024に向けた自治体協議』

- 【概要】 空知シーニックバイウェイでは、空知管内12の道の駅とシーニックバイウェイの関連施設の連携し「地域版スタンプラリー」を開催することで、空知管内の周遊促進と活性化および空知地域の魅力の再発見を目指しています。2023年現在では12の道の駅に加え、空知シーニック関連施設が5施設の参加に留まっていることから、令和6年度のソラ☆スタ2024に向け、空知管内24自治体すべての参加を目指し、未参入の自治体を訪問し、参加に向けた施設候補を提案いただくなど個別協議を進めています。
- 【日時】 2023年 7月5日（水）妹背牛町、上砂川町、7月7日（金）沼田町、7月20日（木）栗山町、南幌町（参加状況の報告（R3年度に個別訪問済み）、7月28日（金）美瑛市



7月7日 沼田町協議＆現地視察
右上：道の丘（シーニックデッキ候補施設）
左下：明日頓駅（旧留萌本線恵比島駅）右下：中村旅館

7月28日 美瑛市協議＆現地視察
右上：ふるさとの見える丘展望台 左下：カフェストウブ（シーニックカフェ候補施設）
右下：GOLF5カントリー美瑛コース（ソラ☆スタ設置場所候補施設）

『空知シーニックバイウェイ×萌える天北オロロンルート 苫前商業高校自転車ツーリング連携事業』

- 【概要】 空知シーニックバイウェイでは萌える天北オロロンルートとの新たなルート間の連携事業として、「苫前商業高校自転車ツーリング事業」にて、今年度の自転車ツーリングの走行ルートである空知管内の沼田町と北竜町にエイドポイントを設け、空知エリアの説明を交えながら、沼田町では3種類のトマトジュース、北竜町では特産品のスイカとメロンを提供し、空知を知ってもらおうきっかけ作りをしました。
- 【日時】 7月25日(火)・26日(水)
- 【場所】 ①7月25日(火) 15:30～15:50 沼田町エイドポイント「明日朝駅(旧留萌本線恵比島駅)・中村旅館」
②7月26日(水) 9:30～10:00 北竜町エイドポイント「セイコーマートへきすい店」
- 【主催】 苫前商業高校
- 【協力】 萌える天北オロロンルート、空知シーニックバイウェイ-体感未来道-、沼田町 他
- 【参加人数】 26名



沼田町のエイドポイント
左上：明日朝駅でお出迎え
右上：沼田町の特産品トマトジュースの説明
左下：明日朝駅内の見学
右下：ドラマ「すずらん」の舞台「中村旅館」



北竜町のエイドポイント
左上：豊水でお出迎え
右上：北竜町の特産品「スイカ」「メロン」
左下：特産品のメロンに舌鼓を打つ高校生
右下：北竜町の歴史の説明



北空知を走る高校生
左上：旧留萌本線恵比島駅付近
右上：国道233号美瑛牛峠付近
左下：国道233号美瑛牛峠付近
右下：国道233号美瑛牛峠

『石狩川流域圏ルート協議会 石狩川流域圏ルートサイクル走行会in空知』

- 【概要】 石狩川流域圏ルートの空知エリアにおけるサイクルルートの検証とPR、モニタリングを目的としたサイクル走行会を開催しました。サイクル走行会では、ロードバイク、クロスバイク、マウンテンバイク、電動クロスバイク、電動マウンテンバイクなど多種類の自転車で行進し、どの種類の自転車での走行が適しているかなど走行環境を調査しました。走行会後のアンケートでは「平坦な道が多かったため、ロードバイクやクロスバイクでの走行が良いと思う」、「国道12号は交通量が多く、自転車での走行は危険と感じた」などの意見が挙がりました。
- 【日時】 10月3日(火) 9:00～15:15
- 【内容】 スケジュール①北海道こどもの国→②鶴沼ワイナリー(雨による悪路のため見学中止)→③道の駅つるぬま→④みんなの工場bySHIRO→⑤ナカヤ菓子店→⑥ソメスサドル砂川ファクトリー→⑦北海道こどもの国
- 【主催】 石狩川流域圏ルート協議会、石狩川流域圏会議
- 【協力】 札幌サイクリング協会、(一財)石狩川振興財団、NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム、(一社)北海道e-bike普及推進協会、(一社)シーニックバイウェイ支援センター、空知シーニックバイウェイ
- 【対象】 札幌サイクリング協会、走行ルート近隣自治体職員等



サイクル走行会開会式の北海道こどもの国駐車場



奈井江大橋

みんなの工場bySHIRO



満白町の田園風景

道の駅つるぬま



ナカヤ菓子店

ソメスサドル砂川ファクトリー



石狩川流域圏ルートサイクル走行会各所ラシ

『五感で「空ヲ知ル」空知ing!!アイデアソン』

【概要】 2023年10月、北海道開発技術センターの設立40周年の記念事業として、空知地域の地域資源を視察・体験し、「伝えたい空知を探る」ことを目的としたアイデアソンを空知シーニックバイウェイにて実施しました。本企画には大学生や大学教員、地域おこし協力隊、学校教員、建設コンサルタントの若手職員、空知シーニックバイウェイの活動メンバーなど所属や年齢の異なる32名が参加しました。アイデアソンでは、「子連れ家族」「ワーケーション」「大学生グループ」「カップル」の4つの対象で参加者をランダムにグループ分けし、各々視察や体験を踏まえ、感じたことなどをともに空知の地域資源を伝えるためのアイデア出しを行いました。

【日時】 10月11日(水)、12(木)

【行程】 11日:オリエンテーション⇒視察・体験「宝水ワイナリー」⇒昼食「畑の中のレストランEKARA」⇒視察・体験「三笠ジオパーク」⇒アイデアソン①・交流会「三笠天然温泉太古の湯」
12日:視察・体験「星の降る里百年記念館」⇒視察・体験「赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設」⇒ランチミーティング・アイデアソン②・プレゼン発表会「赤平市東公民館」⇒視察・体験「道の駅ハウスサルビ奈井江」

【参加人数】 32名



視察・体験1
宝水ワイナリー



昼食:畑の中のレストラン
EKARA



視察・体験2
三笠ジオパーク



アイデアソン1



視察・体験3
星の降る里百年記念館



視察・体験4
赤平市炭鉱遺産
ガイダンス施設



アイデアソン2



プレゼン発表会



視察・体験5
道の駅ハウスサルビ奈井江

『空知シーニックバイウェイキャラバンin南空知 @栗山町・長沼町・南幌町・由仁町』

【概要】 空知シーニックバイウェイは、令和5年新たな連携活動として、空知の景観・地域資源の共有と仲間づくりを目的としたシーニックバイウェイキャラバンをスタート。第1弾は、南空知の栗山町・長沼町・南幌町・由仁町と連携し、バスで地域資源を巡る「フィールドワーク・情報交換会」と「交流会」を開催しました。フィールドワークでは、各自治体や立ち寄り先のみなさんから景観・地域資源を紹介を頂き、参加メンバーそれぞれ、新たな発見を得られました。情報交換会では、フィールドワークの振り返りや今後の連携活動の方向性などを共有しました。

【日時】 8月25日(金) 9:30~16:00

【内容】 1.フィールドワーク: 12:45~16:30 バス移動

行程:「栗山煉瓦創庫くりふと」⇒「ふるさといきもの里オオムラサキ館」⇒「由仁町ジェットコースターの道(町道八間線)」⇒「ゆにガーデン」⇒「CAFÉ KALAMA」⇒「馬追蒸留所」⇒「長沼のcafé インカルシ」⇒「ファームレストランハーベスト」⇒「南幌町ふるさと物産館ビューロー」⇒「夕張川床止め」⇒「小林酒造【車窓】」⇒「栗山煉瓦創庫くりふと」

2.情報交換会: 16:30~17:30 場所:「栗山煉瓦創庫くりふと」

【主催】 空知シーニックバイウェイルート運営会議 / 【協力】 栗山町・長沼町・南幌町・由仁町【参加人数】 26名



景観・地域資源の紹介1
栗山町(ふるさといきもの里オオムラサキ館) 他



景観・地域資源の紹介2
由仁町(CAFÉ KALAMA) 他



ジェットコースターの道
(由仁町町道八間線)



景観・観光資源の紹介3
長沼町(café インカルシ) 他



景観・観光資源の紹介4
南幌町(夕張川床止め) 他



情報交換会@栗山煉瓦創庫くりふと

『空知シーニックバイウェイキャラバン@冬の寄り道旅』

【概要】空知シーニックバイウェイは、令和5年新たな連携活動として、空知の景観・地域資源の共有と仲間づくりを目的としたシーニックバイウェイキャラバンをスタート。第2弾は、中空知の岩見沢市から滝川市までバスでソラ☆スタスタンプラリー参加施設や、シーニックカフェ候補施設などの地域資源を巡る「フィールドワーク」と滝川市民がつくる冬の景観の風物詩となっている「第22回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」を体験しました。フィールドワークでは、立ち寄り先のみなさんから景観・地域資源を紹介を頂き、参加メンバーそれぞれ、新たな発見を得られました。「第22回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」では、実行委員長から開催の経緯などを説明いただき、地域に根差した文化に触れました。

【日時】2月17日（土）13:30～18:25

【内容】1.フィールドワーク：13:30～17:25 バス移動

行程：「いわみざわバラ園」⇒「宝水ワイナリー」⇒「山崎ワイナリー」⇒「緑月Mitsuki（シーニックカフェ候補施設）」⇒「ハウスサルビ奈井江」⇒「たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」

2.冬の地域イベント体験「第22回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」：17:25～18:25

【主催】空知シーニックバイウェイルート運営会議 / 【協力】たきかわ紙袋ランタンフェスティバル実行委員会

【参加人数】12名



景観・地域資源の視察①
いわみざわ公園室内公園「色彩館」



景観・観光資源の視察③
山崎ワイナリー



たきかわ紙袋ランタンフェスティバル
実行委員長による解説



景観・地域資源の視察②
宝水ワイナリー



景観・地域資源の視察④
緑月 Mitsuki



冬の地域イベント体験
第22回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル

『空知シーニックバイウェイキャラバンin北空知 @秩父別町・妹背牛町』

【概要】空知シーニックバイウェイは、令和5年新たな連携活動として、空知の景観・地域資源の共有と仲間づくりを目的としたシーニックバイウェイキャラバンをスタート。第3弾は北空知の秩父別町・妹背牛町と連携し、バスで地域資源を巡る「フィールドワーク」と「情報交換会」を開催しました。フィールドワークでは、各自自治体や立ち寄り先のみなさんから景観・地域資源を紹介を頂き、参加メンバーそれぞれ、新たな発見を得られました。情報交換会では、フィールドワークの振り返りや今後の連携活動の方向性などを共有しました。

【日時】3月1日（金）10:45～15:00

【内容】1.フィールドワーク：10:45～14:20 バス移動

行程：「妹背牛町役場」⇒「道の駅鐘のなるまち・ちっぷべつ」⇒「こども屋内遊戯場キッズスクエアちっく」⇒「秩父別町郷土館」⇒「昼食：秩父別町交流会館（串正焼鳥MIX弁当）」⇒「JR秩父別駅・倉庫群【車窓】」⇒「妹背牛駅名案内版」⇒「妹背牛町郷土館」⇒「カーリングホール」⇒「妹背牛町役場」

2.情報交換会：14:20～15:00 場所：「妹背牛町老人福祉センター 第一集会室」

【主催】空知シーニックバイウェイルート運営会議 / 【協力】秩父別町・妹背牛町・妹背牛町教育委員会・北電町

【参加人数】22名



景観・地域資源の紹介①
道の駅鐘のなるまち・ちっぷべつ



景観・地域資源の紹介③
秩父別町郷土館



景観・観光資源の紹介④
JR秩父別駅・倉庫群（車窓）



景観・地域資源の紹介⑤
カーリングホール



景観・地域資源の紹介②
こども屋内遊戯場キッズスクエアちっく



昼食①秩父別町交流会館



景観・観光資源の紹介⑥
妹背牛駅名案内版



情報交換会
②妹背牛町老人福祉センター第一集会室

空知シーニックバイウェイキャラバンvol.4@北竜町・沼田町

- 【概要】空知シーニックバイウェイは、令和5年新たな連携活動として、空知の景観・地域資源の共有と仲間づくりを目的としたシーニックバイウェイキャラバンをスタート。第4弾は北空知の北竜町・沼田町と連携し、バスで地域資源を巡る「フィールドワーク」と「ふりかえり」を開催しました。フィールドワークでは、各自治体のシーニックデッキ候補地の見学のほか、立ち寄り先のみなさんから景観・地域資源を紹介を頂き、参加メンバーそれぞれ、新たな発見を得られました。沼田町生涯学習総合センター「ゆめっくる」では、フィールドワークの振り返りや今後の連携活動の方向性などを共有しました。
- 【日時】7月26日（金）10:50～15:20
- 【内容】1.フィールドワーク：10:50～14:35
 行程：「北竜町・ひまわりの里 ひまわり観光センター」⇒「屋敷：北竜町・道の駅サンフラワー北竜」⇒「沼田町化石体験館」⇒「沼田町・萌の丘」⇒「沼田町役場倉庫」⇒「沼田町・雪の科学館」
 2.ふりかえり：14:35～15:20 場所：「沼田町生涯学習総合センター ゆめっくる」
- 【主催】空知シーニックバイウェイルート運営会議 【協力】北竜町・沼田町・沼田町教育委員会・秩父別町・妹背牛町
- 【参加人数】22名



北竜町ひまわりの里



道の駅サンフラワー北竜



萌の丘



雪の科学館



北竜中学校の生徒による
ひまわりガイド



沼田町化石体験館



沼田町役場倉庫 あんどんづくり見学



ふりかえり@ゆめっくる

（１）ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト：エントリー活動

ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト：エントリー活動（再掲）									
	年度	活動名	景観	地域	観光	全体	広域連携	単年度	継続
1	2019	"道の駅"からはじめる空知サイクルツーリズム			●				(～2024)
2	2019	これからの空知を考える～地域創生フォーラム		●					(～2024)
3	2020	かわたびほっかいどう×空知シーニックバイウェイ 空知川メインルート体験テストツアー	●						(～2024)
4	2021	ひとつひとつの町に物語があります～ ルーツを知り、物語を繋ぐ『空知ノ物語』		●					(～2021)
5	2022	～そらち「道の駅」×空知シーニックバイウェイ 「ソラ★スタ」スタンプラリー			●				(～2024)
6	2023	～ジオパーク×シーニックバイウェイ×かわたび～ 空知にしかない物語・体験五感で巡るジオパークツアー			●				

Sorachi SceniByway 2019

活動名称

“道の駅”からはじまる“空知サイクルツーリズム”

エントリー部門

魅力ある観光空間づくり

ルート名称

空知シーニックバイウェイ-体感未来道-

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

●活動の目的・目標：札幌、旭川や富良野といった観光地に挟まれた空知は、これまで通過されがちで観光地としての発信や着地の受け入れが弱く、地域にお金落ちにくいという課題がありました。一方、サイクルツーリズムとしては札幌からの日帰り圏内でサイクリストの利用が多い地域という特徴があります。そこで、空知シーニックバイウェイでは、グリーンツーリズムやワインツーリズム、ヘリテージツーリズムといった空知らしい体験観光を自転車移動を使って楽しめるコト・観光消費が生まれ地域が潤うコトづくりの第1歩として“道の駅”からはじまる“空知サイクルツーリズム”の取組をスタートしました。将来的には歩行、自転車、自動車での空知管内での移動による観光受入整備、案内情報発信の充実化、受け入れ観光施設と道の駅、道路管理者との事業連携につなげていきたい。

●活動内容：

- 1) 空知SBWの構成団体や事業者等と連携したサイクリングルートの開発とツアーの造成
- 2) 道の駅を拠点としたサイクルツーリズムによる観光消費を促す仕掛けづくり
★道の駅サイクルステーション化 ★地域交流による商品物販と周辺の宿泊地と旅行商品の造成
- 3) 冬期間のサイクリストの集う場づくり（人材講習会・管内愛好家ワークショップ・練習会等）

●活動期間：29年度～30年度

②活動の体制

目標：空知サイクルツーリズムの拠点化



③PRポイント

- ・道の駅奈井江にて、サイクルツーリズム拠点化を担当する職員の雇用が生まれた（㈱アーチ・ヒーロー×NPO法人日本一直線道まちづくり研究会との空知SBW活動団体同士の事業連携）
- ・サイクルツーリズムの魅力が日本一ある「しまなみ海道ブランド」の特産品「河内晩柑」をサイクルツーリズムを通じて交流から愛媛県の商社事業タイアップで初めて物販が実現。
- ・道の駅にサイクルツーリズムに係る機能を集約させることで、地域内外の情報や資源が消費活動として落とし込める。

空知 サイクルステーション 第1号 道の駅ハウスナルビ奈井江



日本一の直線道路「国道12号」の中間にある“道の駅ハウスナルビ奈井江”を空知サイクルツーリズムの拠点（安全安心なサイクリング環境の提供・歴史、風土、農などといった空知ならではの周遊を楽しめるサイクリング（ツアー）発着地・サイクリストが集う場・地域特産品を買い求めやすい等）を目指す第1号のサイクルステーションとして取組を始動



道の駅奈井江で使用されているサイクルラック



道の駅奈井江で開催された冬期サイクル練習会



しまなみ海道の特産品「河内晩柑」(道の駅奈井江でゴールデンウィークに販売)

Sorachi SceniByway 2019

活動名称

～これからの空知を考える～
地域創生フォーラム

エントリー部門

活力ある地域づくり

ルート名称

空知シーニックバイウェイ-体感未来道-

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

●活動の目的・目標：

2003年より空知地方の経済活性化を図るため、地域の元気を取り戻すイベントとして講演会やセミナーを開催。2016年からの3年間は空知管内におけるシーニックバイウェイをテーマとして、地域・行政・団体・町内会等が連携した「地域資源を活かした活力ある地域づくり・魅力ある観光空間づくり」「子どもたちの未来」「これからの空知」に向けた今後の活動と可能性を模索するフォーラムを企画・開催。

●活動内容：基調講演+パネルディスカッション

●活動期間：平成28年度～平成30年度

②活動の体制

主催：（一社）空知建設業協会

後援：空知総合振興局／札幌開発建設部／空知地方総合開発期成会／岩見沢商工会議所／（一社）北海道建設業協会／（一社）シーニックバイウェイ支援センター

協賛：（株）北海道新聞社／（株）北海道建設新聞社／（株）北海道通信社／（株）空知新聞社

③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- ・広域的な地域活性化イベントとして、様々な角度から地域の再生・創生に向けた議論を継続的に実施している。

【活動による効果】

- ・地域の景観資源の再認識・掘り起こし。
- ・空知シーニックバイウェイ立ち上げの気運を高め、候補ルート申請に至った。
- ・地域・行政・団体から、地域づくり、地域の活性化への協力が得られ、一体となって活動が行えること。



2016
【基調講演】
（社）日本ソムリエ協会認定ソムリエ 池田卓矢氏
【特別講演】
コンセプト株式会社 代表取締役 佐藤雄一氏
【懇談】
・コンセプト株式会社 代表取締役 佐藤雄一氏
・（一社）日本ソムリエ協会認定ソムリエ 池田卓矢氏
・（一社）シーニックバイウェイ支援センター 代表理事 原文宏氏



2017
【基調講演】
『農業による地域づくり』
慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授、北海道大学大学院農学研究員客員教授 林美香子氏
【シーニックバイウェイ座談会】
『空知づくり、地域づくり、人づくり』
・慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授 北海道大学大学院農学研究員客員教授 林美香子氏
・NPO法人炭鉱の記憶推進事業団 副理事長 植村真美氏
・NPO法人なよろ観光まちづくり協会 事務局 畑中寛是氏
・有限会社山崎ワイナリー 山崎 太地氏（コーディネーター）
・株式会社北海道建設新聞社 代表取締役社長 荒木正芳氏



2018
【特別講演】
『ピンチはチャンス。？
決してあきらめない。
ゼロだからこそ可能性はある。』
鈴木貴之氏（そらち応援大使）
（株）クリエイティブオフィスキュー
【パネルディスカッション】
『これからの空知を考える』
・そらち応援大使
（株）クリエイティブオフィスキュー 鈴木貴之氏
・北海道空知総合振興局長 佐々木誠也氏
・空知シーニックバイウェイ代表 工藤彦彦氏
・岩見沢生活情報誌『これっ！』編集長 栗林千奈美氏（コーディネーター）
・（株）北海道建設新聞社代表取締役社長 荒木正芳氏

Sorachi SceniByway 2020

活動名称

～かわたび北海道×空知シーニックバイウェイ～
空知川メインルート 体験テストツアー

エントリー部門

美しい景観づくり

ルート名称

候補) 空知シーニックバイウェイ体感未来道-

①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)

●活動の目的・目標:

- 空知シーニックバイウェイでは「地域の歴史・営みを感じる空知ngな景観づくり」に取り組んでいます。本活動は「かわたび北海道」と「空知シーニックバイウェイ」が連携し、メインルートのひとつである「空知川」沿いのビューポイントを実際に体験。その背景にある地域の歴史や成り立ちを学び、子どもたちに伝えていくため、空知の景観保全とさらなる地域資源の活用を検討するものです。

●活動内容:

- 空知川沿いのビューポイントの体験:** Eポートで専門スタッフと川を下り、自然環境や松浦武四郎が発見したとされる露頭炭(北海道地質百選)を五感で体験。
- 景色の背景を学ぶ:** 赤平炭鉱遺産ガイダンス施設にて、元炭鉱マンガイドより景色の背景(炭鉱遺産)について学ぶ。
- 寄り道ビューポイントの発掘:** ドライブで寄り道可能なビューポイントとして旧三井芦別鉄道炭山川橋梁(日本遺産「炭鉄港」)、芦別川の名勝「三段滝」のヒーリングスポットを体験。

●活動期間:

令和元年～令和2年度

●実施場所:

赤平市・芦別市・空知川・芦別川・国道452号・道道芦別砂川線

②活動の体制

●企画:

空知シーニックバイウェイ事務局

●共催:

NPOまち・川づくりサポートセンター、札幌開発建設部

●後援:

赤平市、一般財団法人石狩川振興財団、(一社)ソーグワイクイ支援センター

●運営サポート:

一般財団法人石狩川振興財団

●活動サポート:

一般財団法人シーニックバイウェイ支援センター

●河川管理者・道路管理者:

札幌開発建設部

●赤平市:

赤平炭鉱遺産ガイダンス施設(教育委員会)

●空知シーニックバイウェイ事務局:

空知シーニックバイウェイ事務局

●空知川沿いのビューポイントの体験:

空知川沿いのビューポイントの体験

●景色の背景を学ぶ:

景色の背景を学ぶ

●寄り道ビューポイントの発掘:

寄り道ビューポイントの発掘

Sorachi SceniByway 2021

活動名称

～ひとつひとつの町に物語があります～
ルーツを知り、物語を紡ぐ『空知ノ物語(奈井江編)』

エントリー部門

活力ある地域づくり

ルート名称

候補) 空知シーニックバイウェイ体感未来道-

①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)

●活動の目的・目標:

- 空知シーニックバイウェイでは「ルーツを大切に、未来に繋ぐ空知ngな地域づくり」に取り組んでいます。本活動は、道の駅等の地域の拠点施設を核に、地域を築いてきた先人達の暮らしや歴史をアーカイブし、シニア世代から若年世代、子育て世代へ語り継ぐことを通じて、地元愛の醸成を促し、地域への定住促進につなげるとともに地域コミュニティの再構築を図ることを目的としています。

●活動内容:

- 古写真の収集:** 昭和から平成までの奈井江町で写した写真(人・町並み)や町の広報紙、地図、チラシ、名簿等を地域住民より収集。
- 先人のエピソード(語る会):** 道の駅「ハウスヤルビ奈井江」2階を会場に、専門家のお話を聞いたり、懐かしい昔話に花を咲かせたりする「語る会」を開催。
- 空知ノ物語アーカイブ:** 資料収集と語る会を、市民向け歴史伝承活動として継続するとともに『空知ノ物語(奈井江町編)』としてアーカイブ。

●活動期間:

R2 道の駅に古民家再現・座談会、R3: 古写真収集・語る会※R4以降空知SBW内で展開

②活動の体制

●主催:

NPO法人日本一直接道まちづくり研究会

●協力:

空知シーニックバイウェイ体感未来道、NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム、札幌開発建設部 他

●助言・活動サポート:

空知シーニックバイウェイ

●地域対策調査・道路管理者:

札幌開発建設部

●北海道歴史文化財団・地元郷土史研究会:

北海道歴史文化財団・地元郷土史研究会

●奈井江町地域住民:

奈井江町地域住民

●情報提供: 古写真と語る会参加:

情報提供: 古写真と語る会参加

③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- 町の何気ない暮らしの様子を地域住民から直接、語ってもらえるよう工夫。
- 北海道歴史文化財団や地元郷土史研究会等、専門家のアドバイスを参考に、地域の歴史や文化について学ぶ機会を設けた。
- 関係者との調整、コロナも含めた安全対策の徹底。

【活動による効果】

- 道の駅等の地域拠点で、地域住民の交流が生まれた。
- 地域内外の関係者間のネットワークが構築された。

奈井江の古い写真を探しています

古写真募集チラシ▶

写真収集前に幹事による

ミーティング

奈井江市郷土史研究会の

打合せ

古写真募集チラシ▶

Step1

町の古写真を収集

道の駅ハウスヤルビ奈井江にて、古写真の情報収集

Step2

先人に学ぶ語る会

第1回は、ほっかいどう学推進フォーラム新理事長により、収集のポイントについてクイズ形式で、空知SBW代表の写真をもとに参加者がディスカッション。

Step3

空知ノ物語アーカイブ

R3年は奈井江町・道の駅で試行。

第2回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第3回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第4回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第5回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第6回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第7回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第8回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第9回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第10回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第11回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第12回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第13回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第14回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第15回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第16回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第17回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第18回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第19回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第20回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第21回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第22回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第23回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第24回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第25回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第26回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第27回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第28回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第29回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

第30回は、収集した写真について参加者がディスカッション。

Sorachi SceniByway 2022

活動名称

～そらち「道の駅」×空知シーニックバイウェイ×かわたび～
「ソラ★スタ」2022スタンプラリー

エントリー部門

魅力ある観光空間づくり

ルート名称

候補) 空知シーニックバイウェイ体感未来道-

①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)

空知管内12駅の道の駅が連携・協働する『そらち「道の駅」ネットワーク会議』と『空知シーニックバイウェイ』が共催し、札幌圏からの誘客及び空知管内の周遊促進を目的とする地域版の道の駅スタンプラリー。

- ・期間：令和4年4月24日(土)～令和5年1月22日(日)
- ・条件：全箇所のスタンプを捺印・アンケートへの回答

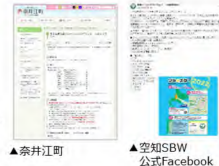
- 道の駅と空知SBWGが連携し、空知管内24市町全体の活性化を目指す
 - ・道の駅(12市町)＋シーニック施設(5市町)が参加(全17市町で展開)
- 持続可能な運営体制の構築
 - ・令和4年度より、協賛・広告募集の他、参加施設の負担金(2万円)を設定
- 道の駅・行政・民間の有益な情報交流の場づくり
 - ・道の駅とシーニック団体の情報交流の実施

②活動の体制



③PRポイント

- 【総意工夫した点や苦労した点】
- ・コロナ禍において、オンライン、書面会議、個別協議、全体での対面など手法を工夫し会議を開催。
- ・参加施設の負担金(2万円)設定に向けた、個別検討&調整を含めた、全体の合意形成に苦労した。
- 【活動による効果】
- ・1,436名が全17施設を完走。観光情報へのアクセス有。
- ・アンケートでは、8割が楽しかったと好評価。
- ・9割以上が食事・買い物等の消費有。



Step1

ソラ★スタ2022企画&検討



空知シーニックの活動紹介



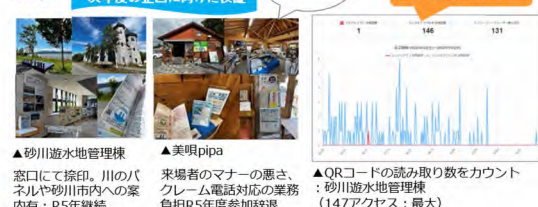
Step2

観光情報の収集&協賛等の調整



Step3

次年度の企画に向けた検証



Sorachi SceniByway 2023

活動名称

～ジオパーク×シーニックバイウェイ×かわたび～
空知にしかない物語・体験 五感で巡るジオパークツアー

エントリー部門

魅力ある観光空間づくり

ルート名称

候補) 空知シーニックバイウェイ-体感未来道-

①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)

●目的・目標：

- ・空知シーニックバイウェイでは、空知らしい景観・地域・空間を活用した魅力向上の取り組みとして、地域の強みを集約化し「空知」にしかない物語・体験を提供するジオツアーを企画・実施しています。
- ・三笠ジオパーク推進協議会を中心に他団体が連携し取組むことで、それぞれの視点から地域の「当たり前」を深掘りし、空知の景観・動植物・食・歴史・伝統文化(地域のお宝)が「当たり前」では無く凄いことであると、自分たち自身で知ること目的のひとつとしています。

●具体的な取り組み：

- ・活動内容：①ルート代表者会議等での空知のお宝(景観・地域・空間)の共有
②空知にしかない物語・体験を五感で巡るジオツアーの企画・実施
③ルートメンバーによるツアープログラムの検証とふりかえり
- ・活動期間：2022年～現在も継続中

②活動の体制

- ・主催：三笠ジオパーク推進協議会共催：北海道三笠市観光協会
- ・協力：空知シーニックバイウェイルート代表者会議 かわたび北海道 他



③PRポイント

- 【総意工夫した点や苦労した点】
- ・それぞれの得意分野分野を組み合わせ、普段なかなかできない体験を企画・実施
- ・ロゴマークの表示によるツアーの差別化
- ・ジオツアーの企画・実施を通じた地元への空知シーニックバイウェイの周知
- 【活動による効果】
- ・2022年度に連携ジオツアーを開始し、2023年度は10本の連携ジオツアーを進行2024年も進行を予定しており、三笠ジオツアーのプログラムとして定着

Step1

ルート代表者会議で情報交換



Step2

ジオツアーの企画・実施



Step3

次年度の企画に向けた検証



(2) シーニックデッキ・カフェの登録状況

シーニックデッキ&カフェ									
	年度	シーニックデッキ	景観	地域	観光	全体	広域連携	単年度	継続
1	2023	砂川遊水地	●		●				
2	2023	新十津川町 当せん地展望台	●		●				
3	2024	奈井江大橋駐車帯	●		●				
	年度	シーニックカフェ	景観	地域	観光	全体	広域連携	単年度	継続
1	2021	たきかわスカイパーク カフェテリア リリエントール	●	●	●				
2	2023	菅野牧園	●	●	●				
3	2024	宝水ワイナリー-ヴィアグレスト-	●	●	●				
4	2024	Cafe KALAMA	●	●	●				
5	2024	長沼のCafe インカルシ	●	●	●				
6	2024	いたがきCafé (靱いたがき 赤平本店)	●	●	●				



シーニックデッキ

施設名称 砂川遊水地（シーニックデッキ）

施設名称英語名 Sunagawa yuusuichi

住所 北海道砂川市西5条南8丁目

マップコード 360 228 584*01

利用期間 通年

利用時間 9:00～17:00

定休日 月曜日（祝日の場合はその翌日）

砂川遊水地『ふれあい広場』に設置されたブルーのデッキ。シンボリックな『#SUNAGAWA SMILE』の文字と水辺&山並みのコントラストが美しいフォトスポットです。

https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/takikawa_kasen/kluhh400000059qy.html








シーニックデッキ

施設名称	新十津川町 当せん地展望台（シーニックデッキ）
施設名称英語名	-
住所	樺戸郡新十津川町字総進189番地1（グリーンパークしんとつかわ）
マップコード	360 401 414*30 ※グリーンパークしんとつかわの駐車場
利用期間	積雪まで ※グリーンパークしんとつかわは年中無休
定休日	※グリーンパークしんとつかわは年中無休
新十津川町は、奈良県十津川村からの団体移住により1890年に拓かれました。移住者が入植する土地は、抽選によって割り当てられたことから、「当せん地」と呼ばれました。当時、碁盤の目のように美しく区画割りされた風景が、いまま展望デッキに広がっています。秋には美しい稲穂が見られます。	



シーニックデッキ

施設名称	奈井江大橋駐車帯（シーニックデッキ）
施設名称英語名	-
住所	空知郡奈井江町奈井江
マップコード	360 042 068*77
利用期間	夏期 期間限定（4月下旬～11月上旬）
定休日	冬期
道道278号奈井江浦白線に石狩川架かるの奈井江大橋の駐車帯（奈井江町側）にシーニックデッキを新設。木製のテーブルとベンチが2基、地面にはウッドチップが敷かれ、道路脇は花の植栽で美しく彩られています。シーニックデッキからは、空知の広い空を味わえるほか、北側には遥か天塩山地まで続く田園風景、東西には雄大な夕張山地、増毛山地を眺めることができます。また、奈井江大橋まで足を延ばすと雄大な石狩川の景観も望めます。	



北側方面に広がる空知の空と田園風景



シーニックデッキを彩る赤とピンクのカラーユエ



西側方面に迫る増毛山地



シーニックカフェ

施設名称	たきかわスカイパーク カフェテリア リリエントール（シーニックカフェ）
施設名称英語名	Cafeteria Lillienthal
住所	滝川市中島町139-4
マップコード	179 153 301*32
利用期間	期間限定（4月～11月上旬）
利用時間	9:00～17:00
定休日	4月～11月上旬は無休 スカイパークで飛行するグライダーを間近に眺めながら飲むコーヒーは格別！地元民のみぞ知る夕陽のきれいな名所。北海道の美しい景観に関する情報や道路情報だけではなく「爽やかな風を感じる空の道」ならではの情報も得られるカフェ。 ●ウェブサイト https://www.takikawaskypark.jp/ ●facebook https://www.facebook.com/437912316230547 ●twitter https://twitter.com/SATA_SNS ●youtube https://www.youtube.com/@takikawaskypark6358/featured



シーニックカフェ

施設名称	菅野牧園（シーニックカフェ）
施設名称英語名	kannobokuen
住所	栗山町御園170
マップコード	320 615 629*24
利用期間	期間限定
利用時間	5月～12月金・土曜日11:00～15:00 （13:00～は喫茶のみのご利用もできます）
定休日	日～木曜日 *12月～冬季休業 自家牧場産 黒毛和牛肉のお料理を地場産の美味しいお野菜とともに田園風景を眺めながらお楽しみ下さい Facebook https://www.facebook.com/kannobokuen Instagram https://www.instagram.com/kanno_bokuen/?hl=ja





シーニックカフェ

施設名称	宝水ワイナリー -ヴィアグレスト- (シーニックカフェ)
施設名称英語名	HOUSUI WINERY
住所	北海道岩見沢市宝水町364-3
マップコード	180 068 804*65
利用期間	ワイナリー (通年) ・ノヴィアグレスト:期間限定 (5月~10月)
利用時間	10:00~17:00
定休日	-ヴィアグレスト- (11月~4月の冬期間休業) ぶどう畑が広がる田園風景を楽しめます。隣接するソフトクリーム屋さん (ヴィアグレスト) のおススメは「赤ぶどう」と「白ぶどう」。隣のぶどう畑で収穫したぶどうをソースにしたワイナリーならではの一品です。 ●ウェブサイト http://housui-winery.co.jp/ ●facebook https://www.facebook.com/housuiwinery/ ●instagram https://www.instagram.com/housui_winery/



シーニックカフェ

施設名称	Cafe KALAMA (シーニックカフェ)
施設名称英語名	
住所	北海道 夕張郡由仁町古山589
マップコード	320 484 486 *47
利用期間	通年
利用時間	4月~10月 : 11:00 ~ 17:00 11月~3月 : 11:30~17:00
定休日	4月~10月 : 水曜・木曜定休 11月~3月 : 月~金定休 (土日祝のみ営業) 水色の看板とともに由仁町の田園風景にポツンと現れる「Cafe KALAMA」。お店で提供されるハワイをコンセプトとした多国籍料理は自社農園「ヨコイファーム」で採れたお米や野菜を使用。コーヒー・紅茶もこだわりの味です。ハワイアンテイストの陽気な音楽が流れる店内から望むマオイの丘と田園風景は都会の喧騒を忘れさせてくれます。 ●ウェブサイト https://cafekalama.jp/ ●Facebook https://www.facebook.com/cafekalama.yuni/ ●Instagram https://www.instagram.com/cafekalama.yuni/?hl=ja





シーニックカフェ

施設名称	長沼のCafe インカルシ（シーニックカフェ）
施設名称英語名	
住所	北海道 夕張郡長沼町東6線北5番地
マップコード	139 027 599 *36
利用期間	通年
利用時間	11:00～18:00 （ラストオーダー17:30）
定休日	月曜日 ※祝日の場合は営業、翌日休み

小高い丘の上に立つ「長沼のCaféインカルシ」。オーナーの原夫妻は、「自分たちだけで独り占めするのはもったいない」とカフェをオープン。自家焙煎のコーヒーと自家製パンをおともに、大きな窓から見渡せる石狩平野と遙か遠くの山並みは、訪れた人にしか味わえない特別な体験です。

- Facebook <https://www.facebook.com/naganumacafe/>
- Instagram https://www.instagram.com/inkar_us_i/



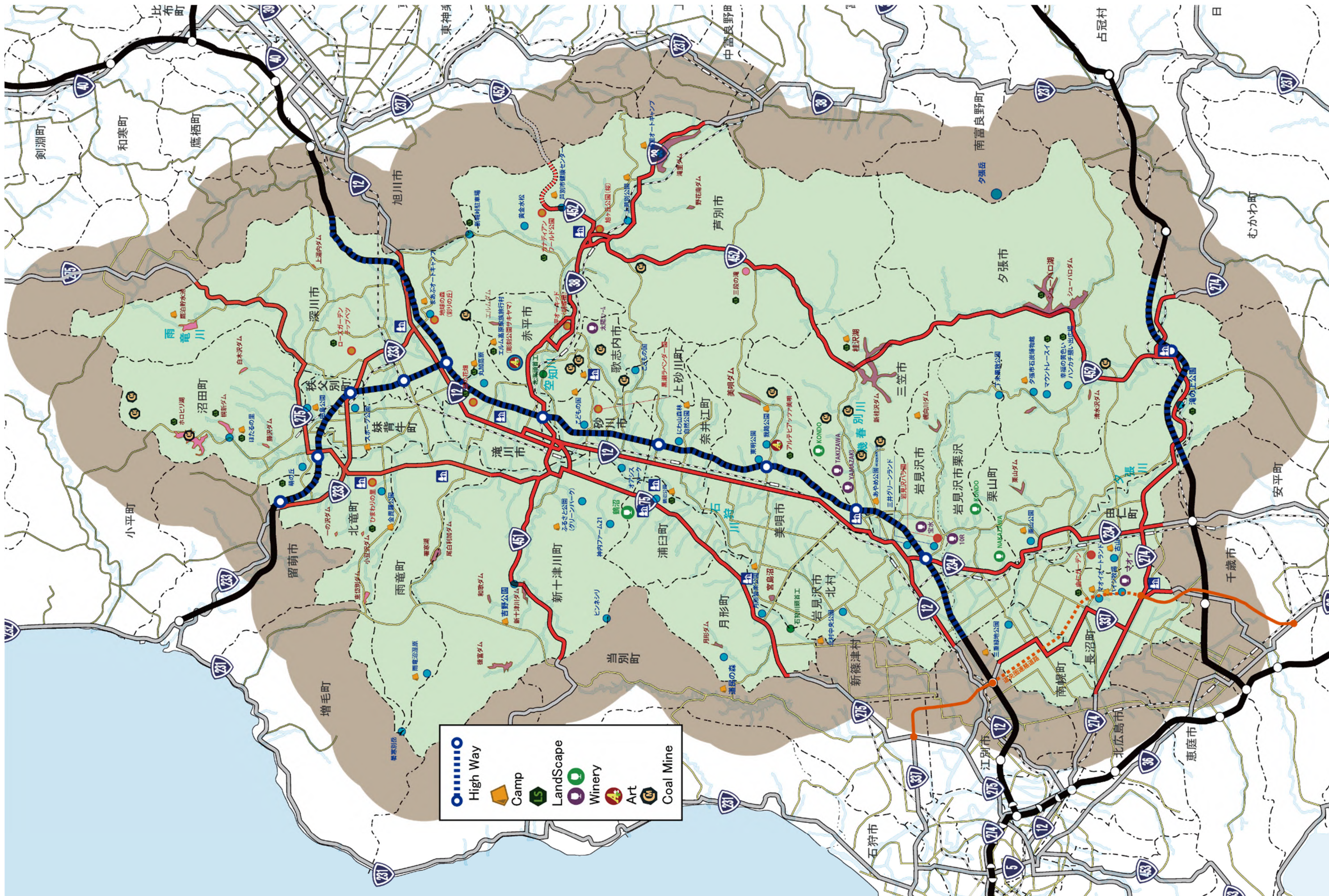
シーニックカフェ

施設名称	いたがきCafé（鞆いたがき 赤平本店）（シーニックカフェ）
施設名称英語名	ITAGAKI Café
住所	北海道赤平市幌岡町113番地
マップコード	179 288 559*06
利用期間	通年
利用時間	10:00～17:00
定休日	年末年始休

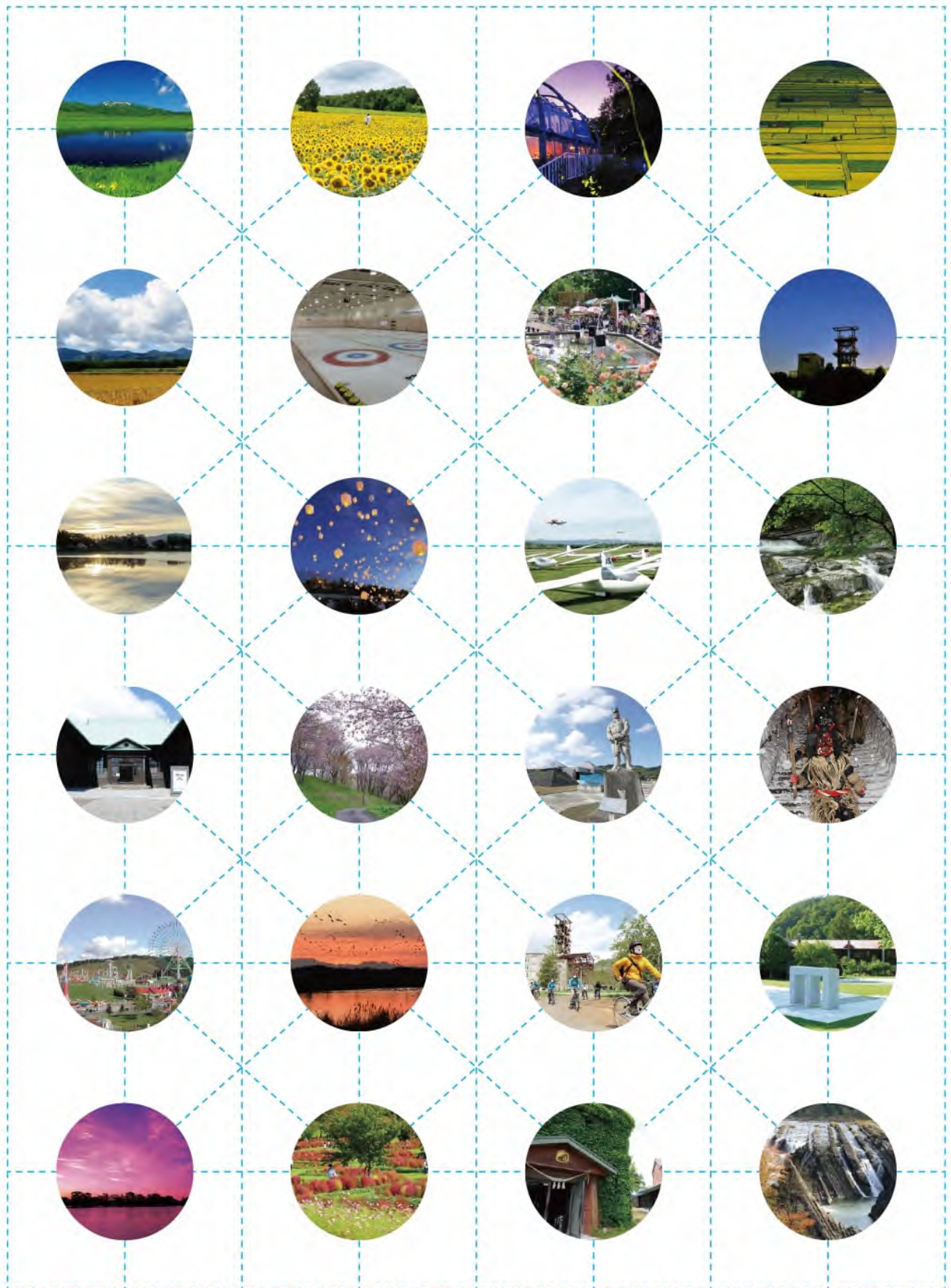
いたがきCaféのコンセプトは、「タンニンなめし革との過ごし方」。椅子に革を敷き、ランプシェードやメニューカバー、ナプキンホルダーも全て革で製作。革と木を感じる北海道らしい雰囲気の中で、赤平の四季折々の景色を眺めながら、ハンドドリップにこだわった薫り高いコーヒーをお楽しみいただけます。

- ウェブサイト <https://www.itagaki.co.jp/>
- Facebook <https://www.facebook.com/kaban.ITAGAKI/>
- Instagram https://www.instagram.com/kaban_itagaki/





空知シーニックバイウェイ-体感未来道-
Sorachi Scenic Byway



Sorachiing Network
Sorachi Value Control links